

I. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査にみる羽曳野市の現状

1. 調査の目的について

本調査は、高齢者の生活の状況や心身の状態などについて把握し、リスクや社会参加状況を分析します。第9期高年者いきいき計画の策定に向けての基礎資料として、地域課題の抽出を行い、求められる介護予防事業や、地域包括ケアシステム構築などの推進に活用します。

2. 調査の実施について

対象者	令和5年1月1日現在、羽曳野市内にお住まいの65歳以上の方 (要介護1～5の方を除く) 3,300名
実施期間	令和5年1月18日(水)～令和5年2月10日(金)
実施方法	郵送配布、郵送回収(回収率向上のための礼状兼督促はがきを送付)

3. 調査の回収等について

	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回答率
全体	3,300件	2,603件	78.9%	2,552件	77.3%

4. 回答者の属性

単位：%

		母数 (n)	圏域		
			東	中	西
全体		2,552	33.2	30.5	36.4
性別	男性	1,127	34.0	30.4	35.6
	女性	1,425	32.5	30.5	37.0
年齢	前期高齢者	1,234	33.5	28.6	37.9
	後期高齢者	1,318	32.9	32.2	34.9
年齢	65～69歳	550	33.3	29.1	37.6
	70～74歳	684	33.6	28.2	38.2
	75～79歳	596	35.7	29.9	34.4
	80～84歳	462	30.3	32.9	36.8
	85歳以上	260	30.8	36.5	32.7
性・年齢	男性 前期高齢者	553	34.4	27.8	37.8
	後期高齢者	574	33.6	32.9	33.4
	女性 前期高齢者	681	32.7	29.2	38.0
	後期高齢者	744	32.3	31.7	36.0

単位：%

		母数 (n)	認定該当状況			
			一般 高齢者 (自立)	事 業 対 象 者	要 支 援 1	要 支 援 2
全体		2,552	92.9	0.2	4.3	2.6
性・年齢	男性 前期高齢者	553	98.6	0.2	0.5	0.7
	後期高齢者	574	90.8	0.2	6.3	2.8
	女性 前期高齢者	681	98.2	0.1	0.9	0.7
	後期高齢者	744	85.5	0.4	8.6	5.5
圏域	東	846	94.3	0.4	3.1	2.2
	中	778	92.4	0.1	5.0	2.4
	西	928	92.0	0.2	4.7	3.0

回答者数は、分析する単位ごとに400件程度あれば、信頼できる調査結果とされています。

※前期高齢者…65歳～74歳、後期高齢者…75歳以上(以降同様)

※圏域については、第8期計画で定めた日常生活圏域である「東圏域・中圏域・西圏域」で集計しています。

※調査結果中「n」は比率算出の母数をさします。

※複数回答の場合は、「MA」「LA」と記載しています。

5. 調査結果のまとめ（概要）

(1) 回答者の属性・住まいの状況等

回答者の属性について、男性が1,127人、女性が1,425人と女性のほうが多く、前期高齢者が1,234人、後期高齢者が1,318人となっています。また、回答者の圏域については、東圏域は33.2%、中圏域は30.5%、西圏域は36.4%となっています。

家族構成について、1人暮らしが19.6%、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）が45.6%となっており、合わせて65.2%が高齢者のみの世帯となっています。女性の後期高齢者の33.6%が1人暮らしをしており、また、要支援1・2の認定を受けた方で1人暮らしの方は、42.9%と高くなっています。

現在の暮らしについて、3割以上（「大変苦しい」が9.1%、「やや苦しい」が27.7%）が経済的に苦しいと回答しています。

(2) 介護の状況

介護・介助が必要になった原因について、高齢による衰弱、骨折・転倒、関節の病気で5割を超えており、筋力低下を防止することや、生活機能向上のための取り組みが必要と考えられます。その他、生活習慣病に起因する疾病もみられるため、外出のきっかけであり身体機能・認知症予防等の効果が期待される通いの場において、介護予防と保健事業を合わせた取り組みを進めることが重要です。

要介護度が進み、介護が必要になった場合や身体が不自由になった場合に希望する生活について、在宅で介護を受けて生活を送りたいと考えている人は54.0%となっていますが、身近な相談窓口として在宅介護支援センター等を知らない方の割合が高く、今後増加が見込まれる、家族介護者への支援や、在宅生活する上での多様なニーズに対応するために、身近な相談窓口の周知を図る必要があります。

(3) 運動・外出について

運動器機能の低下をみると、リスク該当者の割合は全体で16.5%となっていますが、女性後期高齢者では28.6%と特に多くなっています。また、「15分位続けて歩いているか」の質問に対し、15.5%の方が「できるけどしていない」と回答しており、「過去1年に転んだ経験のある人」は34.1%となっています。これらの人には転倒予防をはじめとする介護予防への意識づけが必要と考えられるため、リハビリの専門職を自宅に派遣する事業を進め、介護予防自主グループの活動を支援していきます。

外出の状況については、週1回以上外出する人が92.4%（前回：92.1%）で前回調査時と同程度となっています。「昨年と比べ外出が減っている」や、「外出を控えている」割合が4割弱あり、理由について「足腰などの痛み」が36.8%と多くなっています。次いで「外での楽しみがない」や「トイレの心配」などがあり、足腰の痛み軽減に努めながら、外出に楽しみが持てることが大切となってきます。また、「その他(自由記述)」が46.7%となっており、その回答のうち87.6%が新型コロナウイルス感染症に関する理由となっています。

(4) 口腔・栄養について

咀嚼機能、嚥下機能等の口腔機能低下のリスクをみると、加齢に伴い機能の低下がみられます。多くの人が歯磨きや入れ歯の手入れを日々行っていますが、自分の歯が20本以上ある人は、前期高齢者では半数以上であるのに対し、後期高齢者では約4割に留まっています。定期的な口腔チェックや口腔ケアを行うことで、口腔機能の維持・栄養状態の改善のほか、肺炎や認知症の予防にもつながるとされていることから、これらの周知と習慣付けを行うことが必要です。

誰かと食事をともにする機会について、加齢に伴い減少する傾向がみられます。通いの場等を通じて誰かと食事を楽しむことで、栄養状態の維持・改善や閉じこもりの予防につながると考えられます。

(5) 日常生活について

「趣味あり」は66.3%（前回：67.4%）、「生きがいあり」は52.2%（前回：54.3%）となっており、前回調査時よりもわずかに減少しています。高齢者になっても自立した生活を送るために必要なことについて、「生きがい・趣味活動」と回答した人が32.1%となっており、高齢者の自立した生活を支えるため、生きがい・趣味活動の支援も重要です。

新型コロナウイルス感染症による日常生活への影響をみると、「外出の機会が減った」が80.1%と最も多くなっており、運動機能の低下や閉じこもりのリスクの要因になっている可能性があります。また、「人が集まるところに行かなくなった」「家族・友人と会う機会が減った」も多くなっており、地域のつながりの希薄化につながる可能性があります。

趣味・生きがいを見つけられるような地域の取り組みを推進するとともに、感染症に留意した集いの場を設けることで、地域のつながりを保つ取り組みが必要となります。

(6) 社会参加について

地域活動について、スポーツ関係のグループやクラブ、趣味関係のグループ、町内会・自治会に参加している人が2割以上と比較的多くなっています。また、収入のある仕事をしている人は24.4%と前回調査時の18.4%よりも多くなっています。趣味・スポーツ関係のグループや、町内会・自治会、収入のある仕事などへの参加を通じて地域の人との関わりの場を持ち、これを地域づくり活動に展開していくよう取り組む必要があります。また、はびきのウェルネス、高年生きがいサロン、いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場については、参加している人が全体で1割未満となっています。特に、男性前期高齢者の「参加していない」の割合が91.1%と多くなっており、通いの場の周知に加えて、元気なうちから介護予防に取り組むことの重要性を啓発する必要があります。

地域づくり活動について、参加者として「参加してもよい」人は44.2%（前回：49.4%）、お世話役として参加可能である人は24.2%（前回：27.5%）となっています。性・年齢をみると、女性前期高齢者では“参加意図がある方（「是非参加したい」と「参加してもよい」の和）”が5割以上と多くなっています。まずは参加者として活動に参加する人を増やし、地域での活動を活発にするとともに、地域づくり活動の担い手となる人材育成を支援し、住民主体の地域づくり活動に繋げていく必要があります。

(7) 健康について

自身の健康状態をよいと感じている人(「とてもよい」と「まあよい」の和)は76.8%となっています。

普段の健康管理について、「定期的に医療機関を受診している」人が半数以上、「毎年、健診を受けている」が4割以上と、定期的な健康管理ができている人が多くみられます。また、身近な医療の専門家について、かかりつけ医がいる人が85.1%、かかりつけ歯科医がいる人が74.5%、かかりつけ薬局がある人が57.8%となっています。

健康上の問題により、日常生活に影響が出ている人は18.7%おり、男女ともに後期高齢者で多くなっています。また、こころの健康ではうつリスク該当者が45.3%となっています。気分が沈んだりゆううつな気持ちになる事を軽減するために、外出する機会や人と交流する機会を増やす為の通いの場の整備等環境づくりが重要となります。

(8) 認知症について

認知症について、自身や家族に症状がある人は6.6%となっています。このうち受診するまでに1か月以上かかった割合は全体で41.0%となっており、後期高齢者では男女ともに約5割と多くなっています。また、認知症に関する相談窓口を知っている人は約2割となっています。相談窓口で知っている場所について、「かかりつけ医」が61.5%（前回：51.2%）、「認知症専門病院」が25.8%（前回：19.4%）と前回調査時に比べて多くなっています。加えて、認知症相談をする機会や窓口について、「専門職による認知症相談会」や「認知症地域支援推進員がいる介護事業所での相談窓口」が多くなっていることから、専門職との相談の機会へのニーズが高いことが考えられます。羽曳野市における認知症の取り組みを知らない人は79.6%と多くなっており、認知症の症状が現れる前に、正しい知識や理解をもっておくために、取り組みの更なる周知が必要です。

認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」をめざし、認知症バリアフリーの地域づくりを進めるにあたり、認知症の症状の有無にかかわらず、まずは地域で認知症の相談窓口が周知されることが重要であり、認知症に対する正しい知識と理解を深める必要があると考えられます。

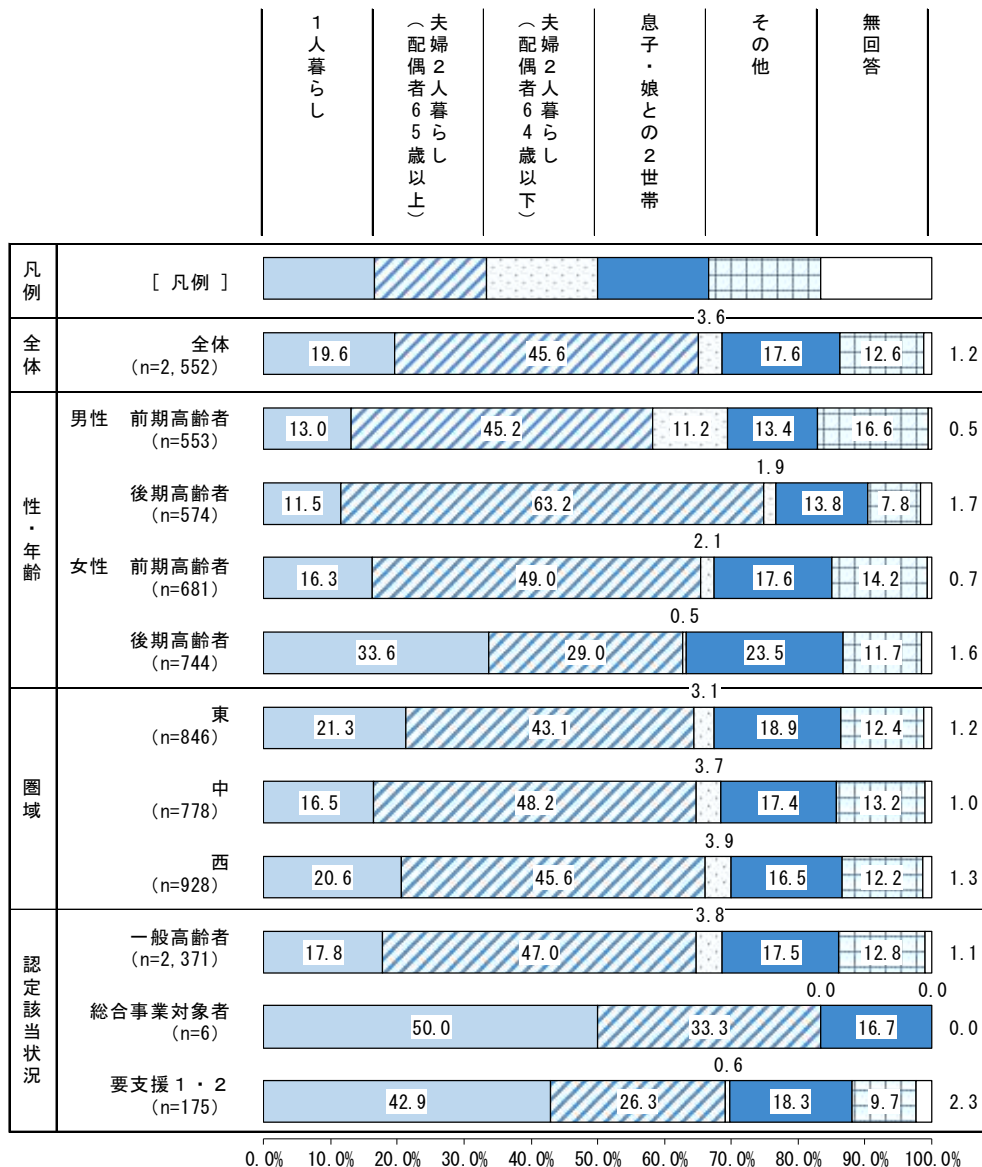
6. 調査結果の抜粋

(1) 回答者の属性・住まいの状況等

① 家族構成

家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が45.6%で最も多く、次いで「1人暮らし」が19.6%、「息子・娘との2世帯」が17.6%となっています。

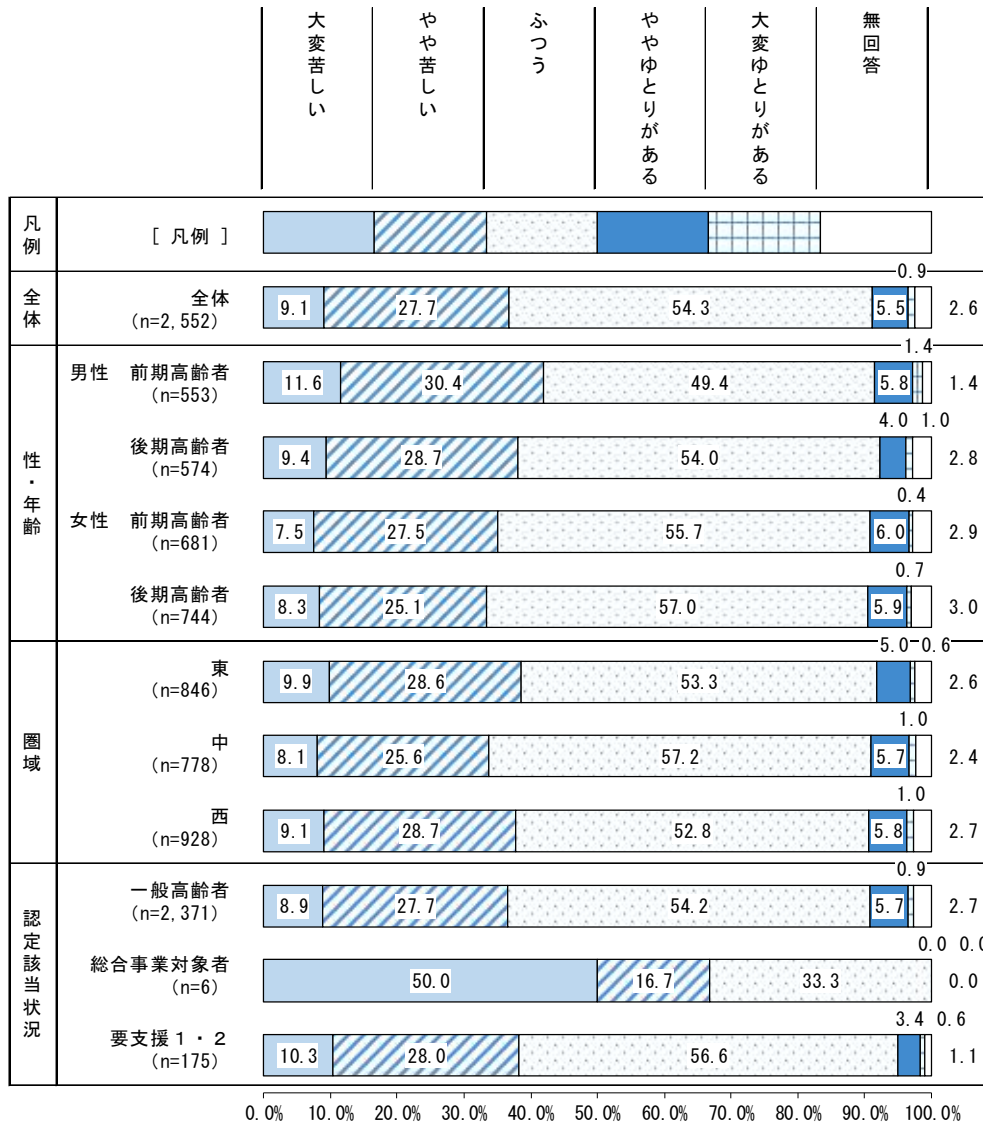
【家族構成】



② 経済状況

経済状況について、「ふつう」が54.3%で最も多く、次いで「やや苦しい」が27.7%、「大変苦しい」が9.1%となっています。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は36.8%となっています。

【経済状況】

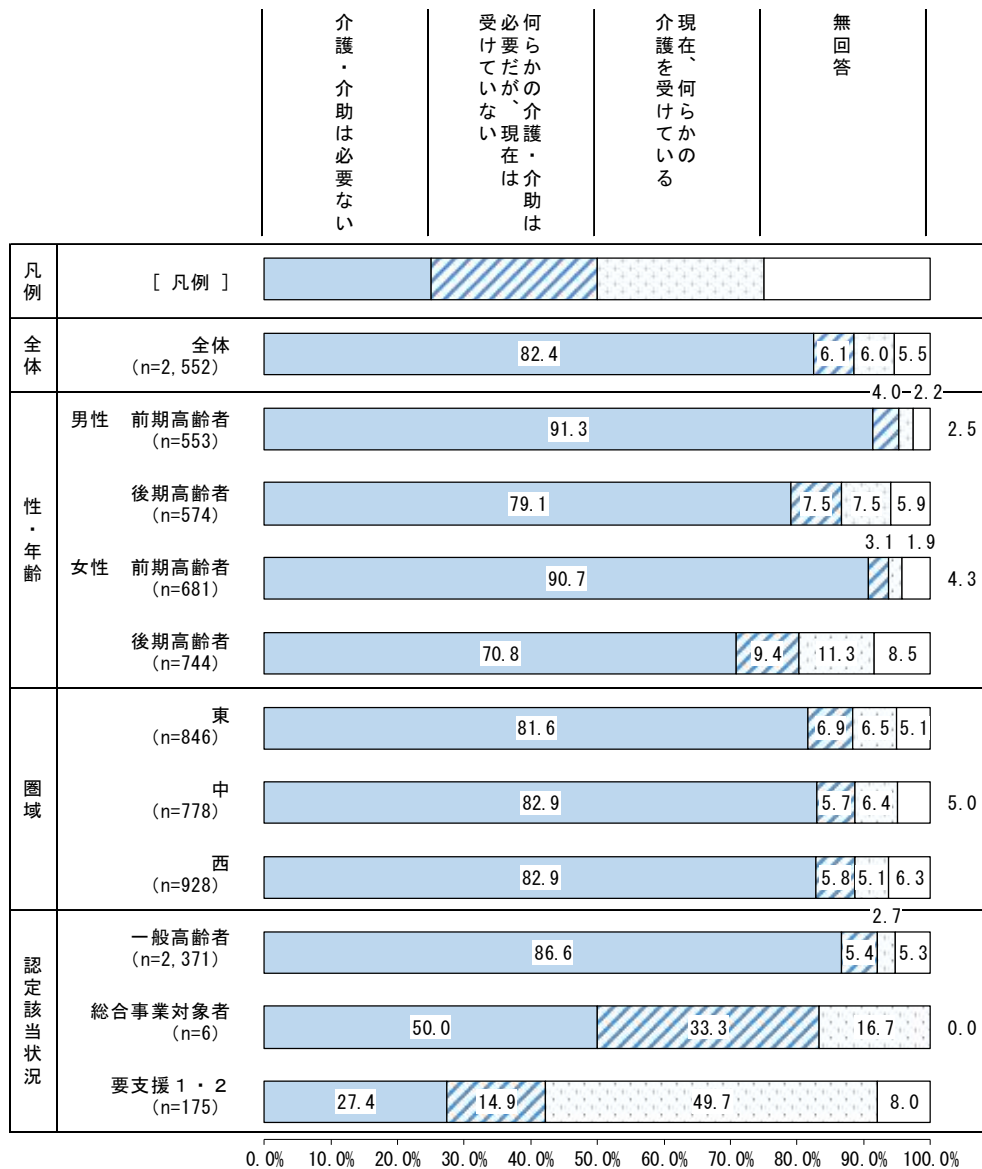


(2) 介護の状況

① 介護・介助の必要性

介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が82.4%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.1%、「現在、何らかの介護を受けている」が6.0%となっています。

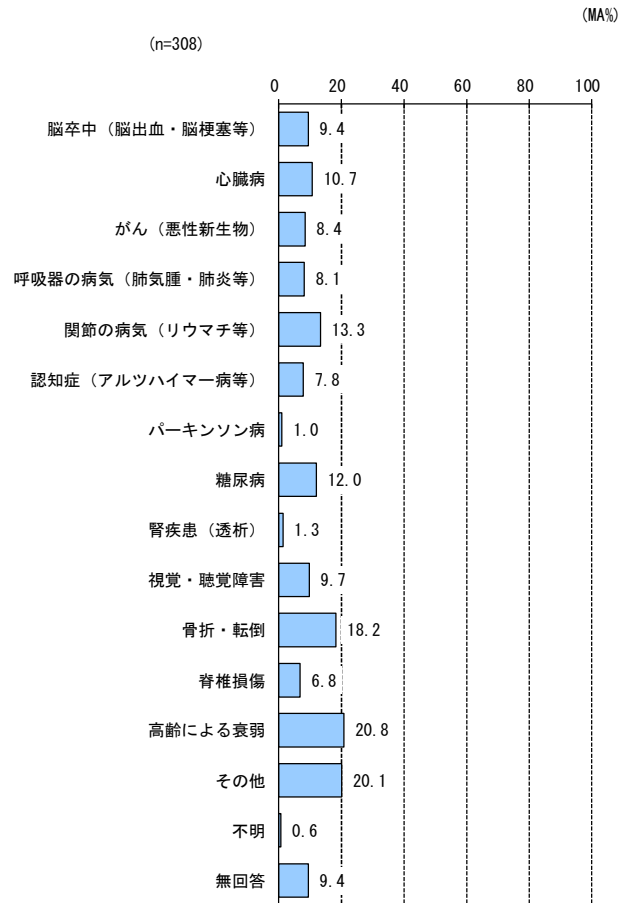
【介護・介助の必要性】



② 介護・介助が必要になった原因

介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が20.8%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が18.2%、「関節の病気（リウマチ等）」が13.3%となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因（複数回答）】

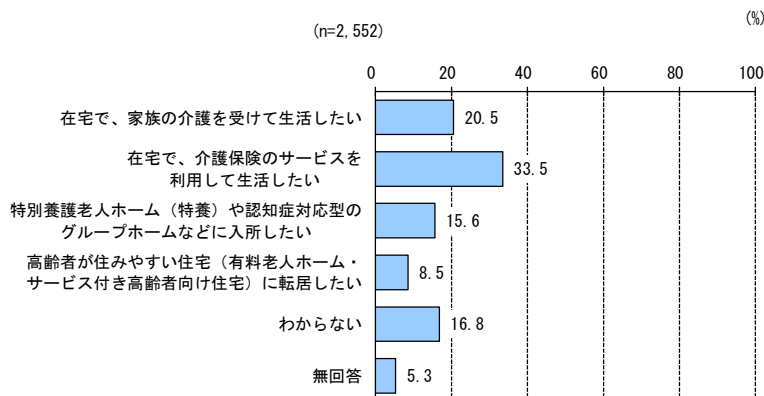


	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)																
		脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答	
全体	308	9.4	10.7	8.4	8.1	13.3	7.8	1.0	12.0	1.3	9.7	18.2	6.8	20.8	20.1	0.6	9.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	34	△ 20.6	8.8	17.6	8.8	20.6	11.8	5.9	11.8	2.9	5.9	▼ 2.9	5.9	▼ 5.9	23.5	-	8.8
	男性 後期高齢者	86	10.5	15.1	12.8	10.5	4.7	9.3	-	14.0	2.3	16.3	10.5	7.0	24.4	16.3	2.3	7.0
	女性 前期高齢者	34	11.8	11.8	11.8	5.9	11.8	-	2.9	8.8	2.9	2.9	11.8	-	11.8	17.6	-	14.7
	女性 後期高齢者	154	5.8	8.4	3.2	7.1	16.9	7.8	-	11.7	-	8.4	27.3	8.4	24.0	22.1	-	9.7
圏域	東	113	12.4	13.3	9.7	15.0	12.4	8.8	0.9	8.0	1.8	10.6	14.2	5.3	20.4	16.8	0.9	8.0
	中	94	8.5	8.5	8.5	3.2	10.6	5.3	1.1	16.0	1.1	9.6	18.1	5.3	21.3	22.3	-	8.5
	西	101	6.9	9.9	6.9	5.0	16.8	8.9	1.0	12.9	1.0	8.9	22.8	9.9	20.8	21.8	1.0	11.9
認定該当状況	一般高齢者	192	9.4	9.9	11.5	6.3	9.4	9.9	1.0	11.5	1.6	8.9	12.0	7.3	18.8	20.3	0.5	12.5
	総合事業対象者	3	-	△ 33.3	-	△ 33.3	△ 66.7	-	-	-	-	-	△ 33.3	-	△ 66.7	33.3	-	-
	要支援 1・2	113	9.7	11.5	3.5	10.6	18.6	4.4	0.9	13.3	0.9	11.5	△ 28.3	6.2	23.0	19.5	0.9	4.4

③ 要介護度が進行したあとにどのような生活を送りたいか

要介護度が進行したあとにどのような生活を送りたいかについて、「在宅で、介護保険のサービスを利用して生活したい」が 33.5%で最も多く、次いで「在宅で、家族の介護を受けて生活したい」が 20.5%、「わからない」が 16.8%となっています。在宅で、介護保険のサービスを利用して生活したい「在宅で、家族の介護を受けて生活したい」を合わせた“在宅で生活したい”は 54.0%となっています。

【要介護度が進行したあとにどのような生活を送りたいか】



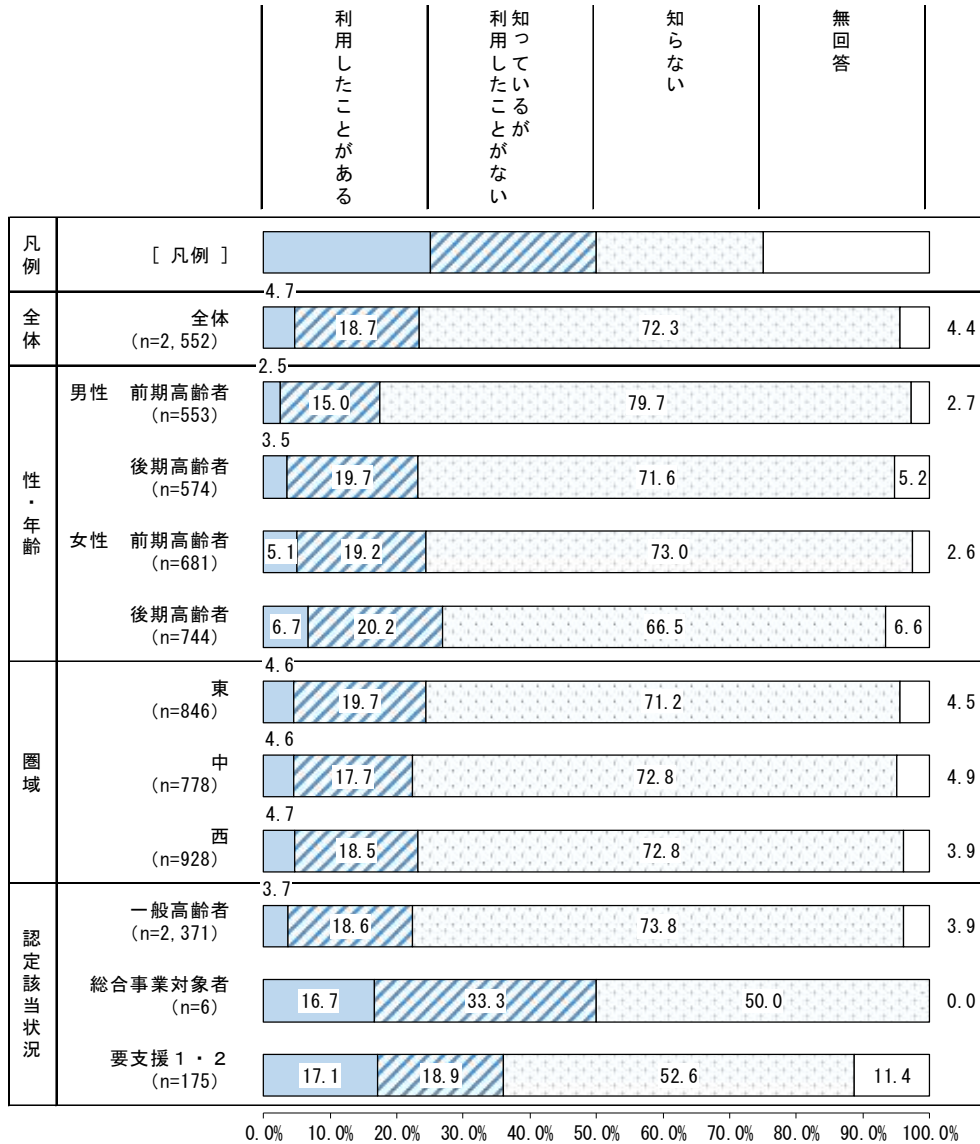
単位：%

	母数 (n)	要介護度が進行したあとにどのような生活を送りたいか						
		在宅で、家族の介護を受けて生活したい	在宅で、介護保険のサービスを利用して生活したい	入所した対応型老人グループホームなどに	特別養護老人ホーム（特養）や	サービス付き高齢者向け住宅（有料老人ホーム・）に転居したい	わからない	無回答
全体	2,552	20.5	33.5	15.6	8.5	16.8	5.3	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	22.2	30.2	16.3	9.2	19.0	3.1
	男性 後期高齢者	574	△ 33.6	28.9	13.1	5.7	12.4	6.3
	女性 前期高齢者	681	11.3	35.2	18.9	10.9	19.5	4.1
	女性 後期高齢者	744	17.3	37.8	13.8	7.8	16.0	7.3
圏域	東	846	21.6	31.1	15.8	8.7	17.3	5.4
	中	778	20.2	35.7	14.4	8.9	16.3	4.5
	西	928	19.6	33.7	16.3	7.9	16.7	5.8
認定該当状況	一般高齢者	2,371	20.3	33.6	15.5	8.6	17.1	4.9
	総合事業対象者	6	16.7	33.3	△ 33.3	16.7	-	-
	要支援 1・2	175	22.3	31.4	16.0	6.9	13.1	10.3

④ 在宅介護支援センターの利用有無

在宅介護支援センターの利用有無について、「知らない」が72.3%で最も多く、次いで「知っているが利用したことがない」が18.7%、「利用したことがある」が4.7%となっています。

【在宅介護支援センターの利用有無】



(3) 運動・外出について

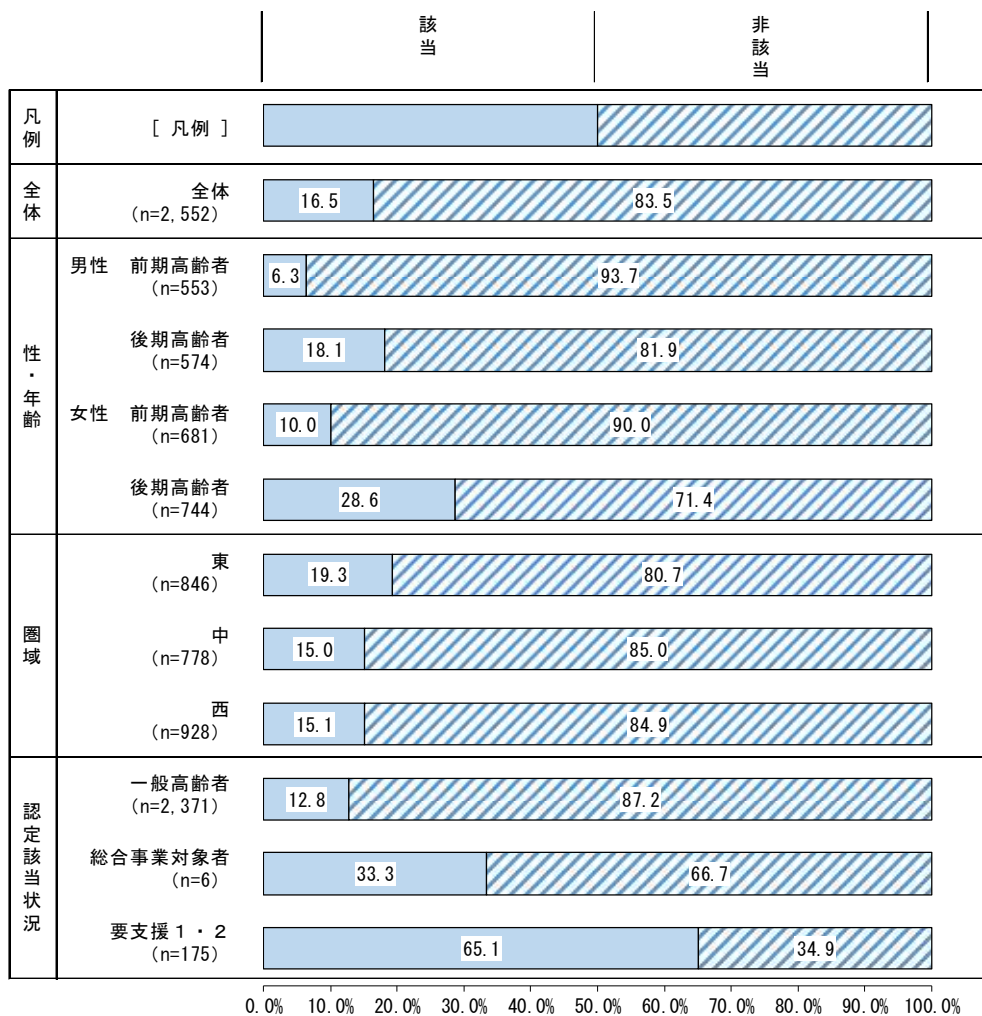
① 運動器機能低下のリスク

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15分位続けて歩いていますか	できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある 1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である やや不安である

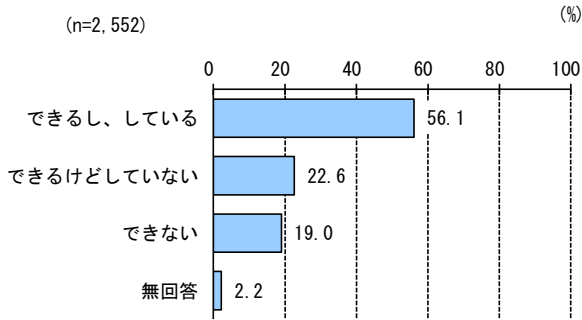
運動器の機能低下リスクについて、「該当」が16.5%、「非該当」が83.5%となっています。

【運動器の機能低下リスク】



【参考：階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか】

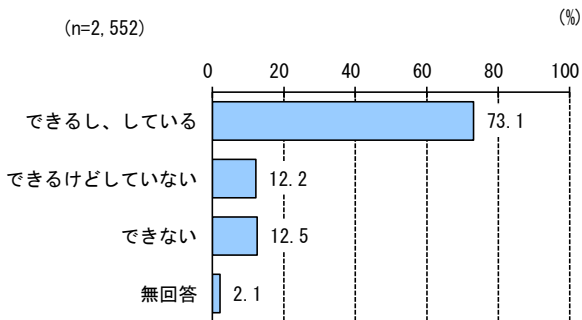
単位：%



	母数 (n)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか				
		できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	
全体	2,552	56.1	22.6	19.0	2.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	△ 72.7	19.0	▼ 6.7	1.6
	後期高齢者	574	53.5	23.9	19.9	2.8
	女性 前期高齢者	681	65.2	21.6	11.7	1.5
	後期高齢者	744	▼ 37.5	25.4	△ 34.3	2.8
圏域	東	846	53.9	22.3	22.0	1.8
	中	778	57.8	23.1	17.0	2.1
	西	928	56.7	22.5	18.1	2.7
認定該当状況	一般高齢者	2,371	59.4	23.3	15.2	2.1
	総合事業対象者	6	▼ 16.7	△ 33.3	△ 50.0	-
	要支援1・2	175	▼ 13.1	13.1	△ 69.7	4.0

【参考：椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか】

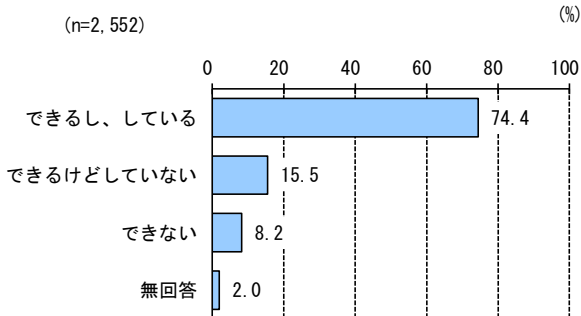
単位：%



	母数 (n)	椅子に座った状態からの立ち上がり				
		できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	
全体	2,552	73.1	12.2	12.5	2.1	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	80.8	11.9	5.4	1.8
	後期高齢者	574	69.3	13.4	14.1	3.1
	女性 前期高齢者	681	81.8	10.1	6.2	1.9
	後期高齢者	744	▼ 62.4	13.4	22.4	1.7
圏域	東	846	70.4	13.7	13.6	2.2
	中	778	76.6	10.9	11.1	1.4
	西	928	72.6	12.0	12.8	2.6
認定該当状況	一般高齢者	2,371	76.5	12.3	9.2	2.0
	総合事業対象者	6	▼ 50.0	16.7	△ 33.3	-
	要支援1・2	175	▼ 28.0	11.4	△ 57.1	3.4

【参考：15分位続けて歩いているか】

単位：%



	母数 (n)	15分位続けての歩行				
		できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答	
全体	2,552	74.4	15.5	8.2	2.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	76.9	18.3	3.1	1.8
	後期高齢者	574	70.2	17.4	9.9	2.4
	女性 前期高齢者	681	79.1	14.8	5.0	1.0
	後期高齢者	744	71.4	12.6	13.4	2.6
圏域	東	846	71.9	16.7	9.8	1.7
	中	778	76.9	15.6	6.0	1.5
	西	928	74.6	14.4	8.4	2.6
認定該当状況	一般高齢者	2,371	76.6	15.7	5.9	1.9
	総合事業対象者	6	66.7	-	△ 33.3	-
	要支援1・2	175	▼ 44.6	13.7	△ 38.3	3.4

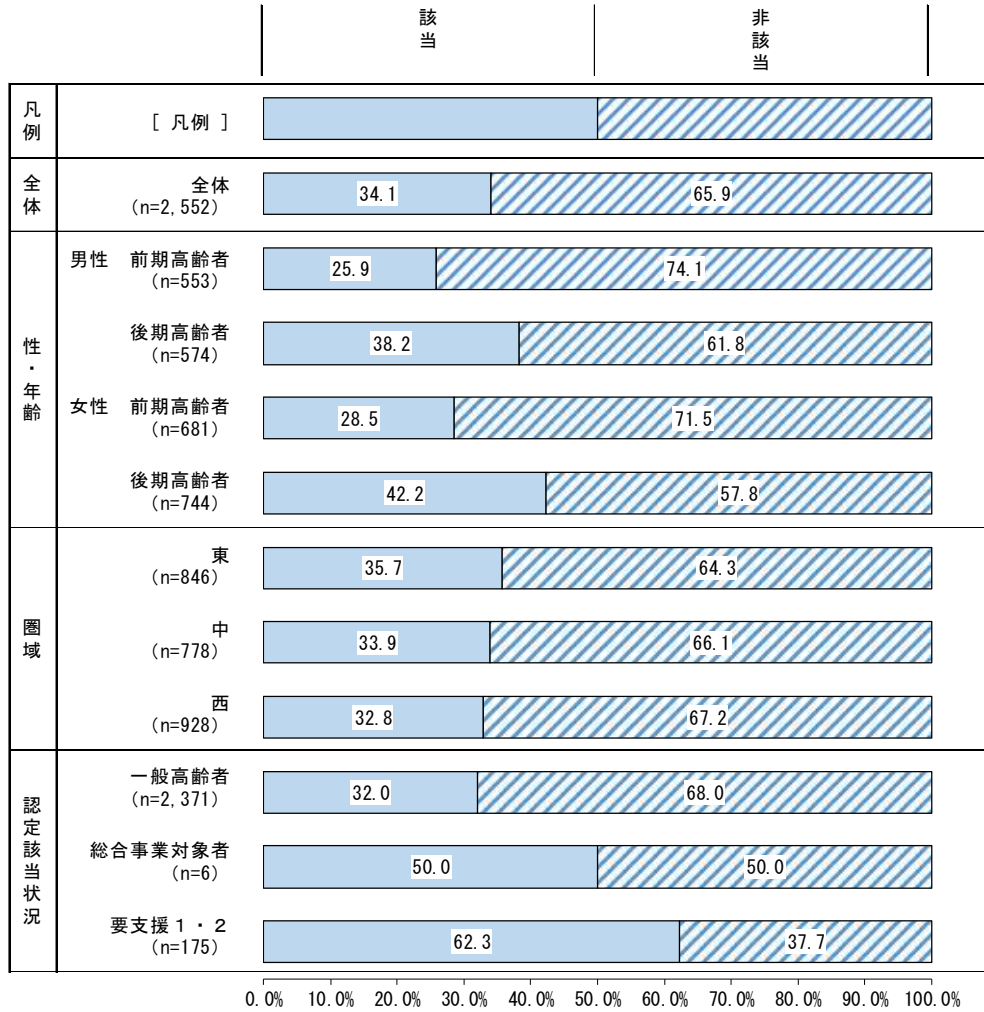
② 転倒リスク

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

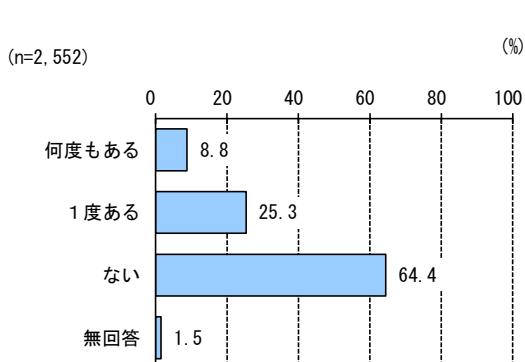
設問	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある 1度ある

転倒リスクについて、「該当」が34.1%、「非該当」が65.9%となっています。

【転倒リスク】



【参考：過去1年間に転んだ経験がありますか】



	母数 (n)	転倒経験				
		何度もある	1度ある	ない	無回答	
全体	2,552	8.8	25.3	64.4	1.5	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	5.6	20.3	72.9	1.3
	後期高齢者	574	9.9	28.2	59.8	2.1
	女性 前期高齢者	681	6.0	22.5	70.3	1.2
	後期高齢者	744	12.9	29.3	56.3	1.5
圏域	東	846	10.2	25.5	63.1	1.2
	中	778	8.4	25.6	64.5	1.5
	西	928	8.0	24.8	65.5	1.7
認定該当状況	一般高齢者	2,371	7.5	24.4	66.6	1.4
	総合事業対象者	6	16.7	33.3	50.0	-
	要支援1・2	175	△ 25.7	△ 36.6	▼ 35.4	2.3

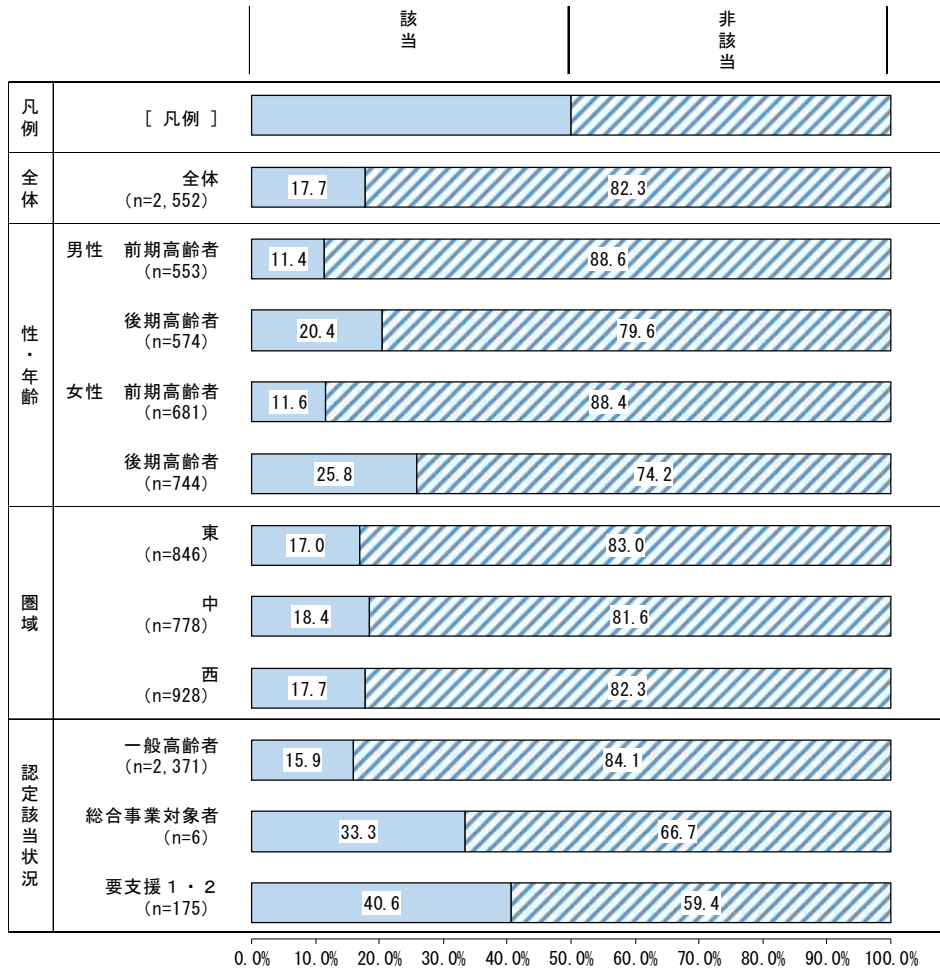
③ 閉じこもりリスク

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもりリスクのある高齢者となります。

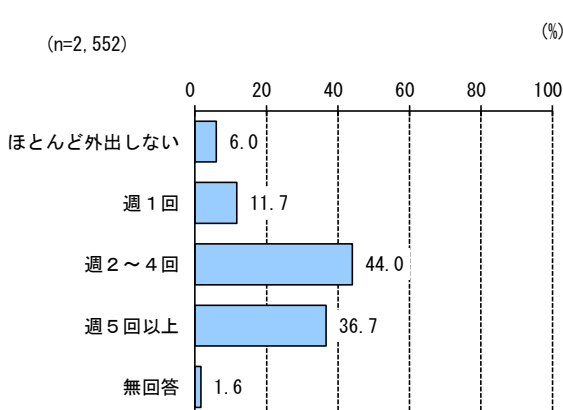
設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない 週1回

閉じこもりのリスクについて、「該当」が17.7%、「非該当」が82.3%となっています。

【閉じこもりのリスク】



【参考：週に1回以上は外出しているか】

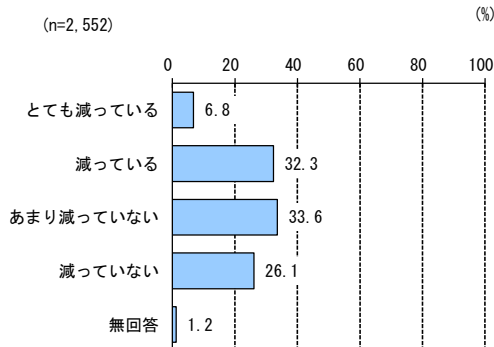


		母数 (n)	外出頻度				
			ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		2,552	6.0	11.7	44.0	36.7	1.6
性・年齢	男性 前期高齢者	553	3.3	8.1	35.1	△ 51.7	1.8
	後期高齢者	574	7.8	12.5	39.5	37.6	2.4
	女性 前期高齢者	681	2.8	8.8	47.1	40.4	0.9
	後期高齢者	744	9.4	16.4	51.2	▼ 21.4	1.6
圏域	東	846	5.6	11.5	45.6	36.2	1.2
	中	778	6.4	12.0	44.9	35.1	1.7
	西	928	5.9	11.7	41.8	38.5	2.0
認定該当状況	一般高齢者	2,371	5.0	11.0	43.9	38.5	1.6
	総合事業対象者	6	-	△ 33.3	△ 66.7	-	-
	要支援1・2	175	△ 19.4	21.1	44.6	▼ 13.1	1.7

④ 外出

昨年と比べた外出の回数について、「あまり減っていない」が33.6%で最も多く、次いで「減っている」が32.3%、「減っていない」が26.1%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている方”は39.1%となっています。

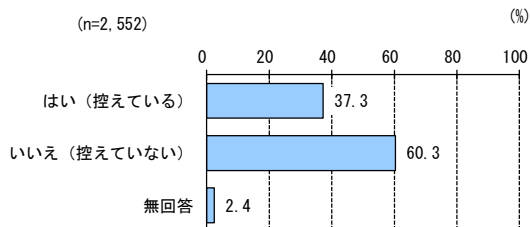
【昨年と比べた外出の回数】



	母数 (n)	昨年と比べた外出の回数					
		とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答	
全体	2,552	6.8	32.3	33.6	26.1	1.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	4.5	▼ 19.9	33.8	△ 40.3	1.4
	後期高齢者	574	5.2	32.8	36.2	23.9	1.9
	女性 前期高齢者	681	4.6	32.2	34.5	27.9	0.9
	後期高齢者	744	11.7	41.3	30.6	▼ 15.6	0.8
圏域	東	846	6.4	33.9	35.8	22.9	0.9
	中	778	7.2	29.7	33.7	28.4	1.0
	西	928	6.8	33.0	31.6	27.0	1.6
認定該当状況	一般高齢者	2,371	5.7	31.1	34.4	27.6	1.1
	総合事業対象者	6	△ 33.3	33.3	33.3	-	-
	要支援1・2	175	△ 20.0	△ 48.0	▼ 22.9	▼ 6.9	2.3

外出を控えているかについて、「はい (控えている)」が37.3%、「いいえ (控えていない)」が60.3%となっています。

【外出を控えているか】

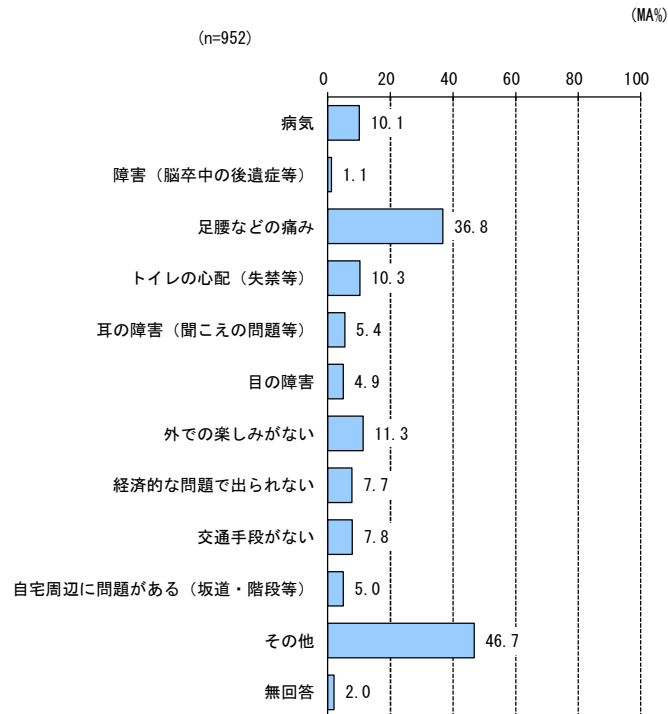


	母数 (n)	外出を控えているか			
		はい (控えている)	いいえ (控えていない)	無回答	
全体	2,552	37.3	60.3	2.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	▼ 23.0	△ 75.0	2.0
	後期高齢者	574	34.7	62.5	2.8
	女性 前期高齢者	681	36.3	61.8	1.9
	後期高齢者	744	△ 50.9	▼ 46.4	2.7
圏域	東	846	37.9	59.8	2.2
	中	778	38.0	60.2	1.8
	西	928	36.1	61.0	2.9
認定該当状況	一般高齢者	2,371	35.2	62.5	2.3
	総合事業対象者	6	△ 66.7	▼ 33.3	-
	要支援1・2	175	△ 64.6	▼ 32.0	3.4

外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が36.8%で最も多く、次いで「外での楽しみがない」が11.3%、「トイレの心配（失禁等）」が10.3%となっています。

「その他」の回答のうち、87.6%は新型コロナウイルス感染症に関する理由となっています。

【外出を控えている理由（複数回答）】



単位：%

	母数 (n)	外出を控えている理由 (MA)												
		病気	障害（脳卒中の後遺症等）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁等）	耳の障害（聞こえの問題等）	目の障害	外での楽しみがない	経済的な問題で出られない	交通手段がない	自宅周辺に問題がある（坂道・階段等）	その他	無回答	
全体	952	10.1	1.1	36.8	10.3	5.4	4.9	11.3	7.7	7.8	5.0	46.7	2.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	127	11.0	1.6	29.1	5.5	-	3.1	12.6	11.8	1.6	0.8	61.4	-
	男性 後期高齢者	199	11.1	1.5	41.2	16.6	10.6	5.0	13.6	5.0	6.0	5.5	34.2	2.5
	女性 前期高齢者	247	8.9	1.2	23.1	5.7	0.8	2.8	7.7	9.3	6.5	3.6	66.8	2.0
	女性 後期高齢者	379	10.0	0.5	45.9	11.6	7.4	6.9	12.1	6.6	11.6	7.1	35.4	2.4
圏域	東	321	10.3	-	38.3	13.1	5.9	5.3	11.2	7.5	9.0	5.0	44.5	3.1
	中	296	10.8	1.7	32.4	7.8	4.7	4.1	9.1	8.4	5.7	7.1	53.0	1.0
	西	335	9.3	1.5	39.1	9.9	5.4	5.4	13.4	7.2	8.4	3.3	43.3	1.8
認定該当状況	一般高齢者	835	9.3	1.0	32.3	8.4	4.0	4.2	10.8	7.7	6.1	3.4	52.2	2.2
	総合事業対象者	4	△ 25.0	-	△ 50.0	△ 50.0	-	-	△ 50.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 50.0	-	25.0
	要支援 1・2	113	15.0	1.8	△ 69.0	△ 23.0	△ 15.9	10.6	14.2	7.1	△ 19.5	△ 15.9	8.0	-

(4) 口腔・栄養について

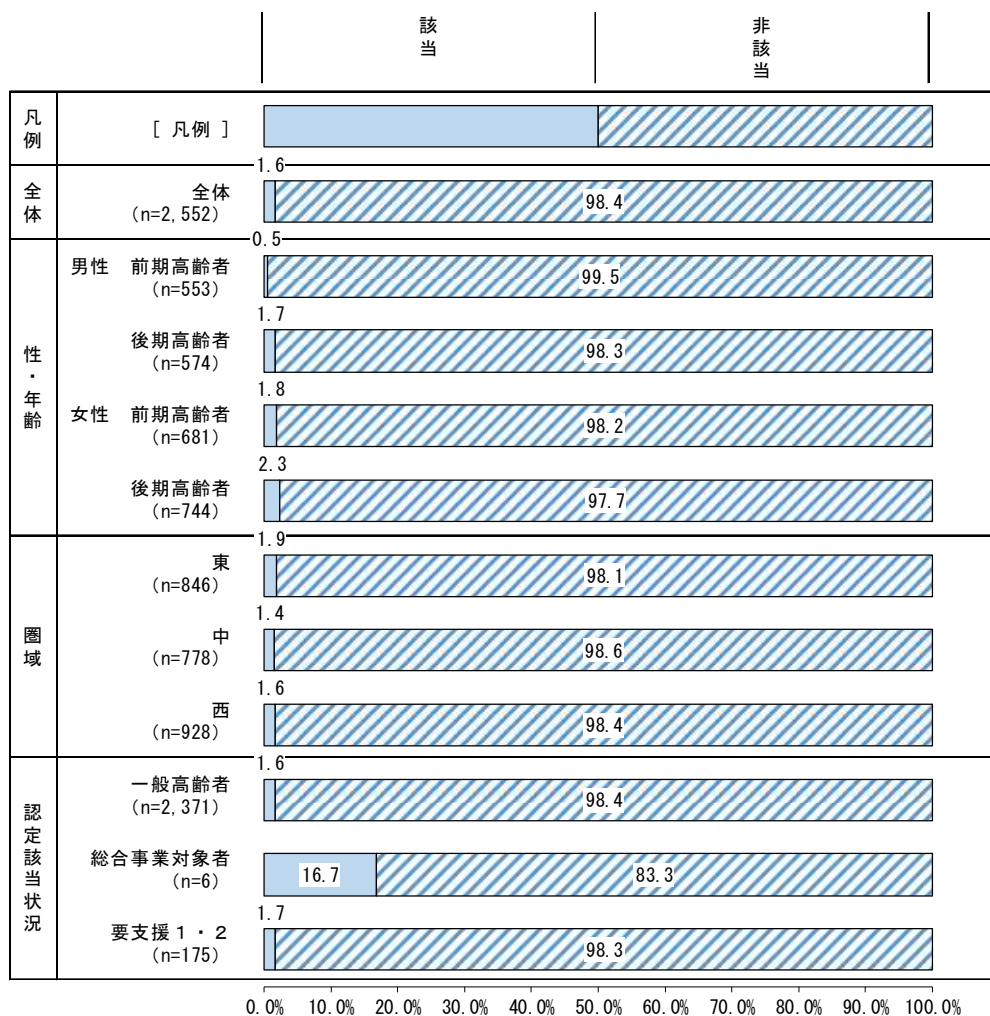
① 低栄養のリスク

以下の設問から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m）²）が18.5未満の場合低栄養のリスクがある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5未満
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい

低栄養のリスクについて、「該当」が1.6%、「非該当」が98.4%となっています。

【低栄養のリスク】



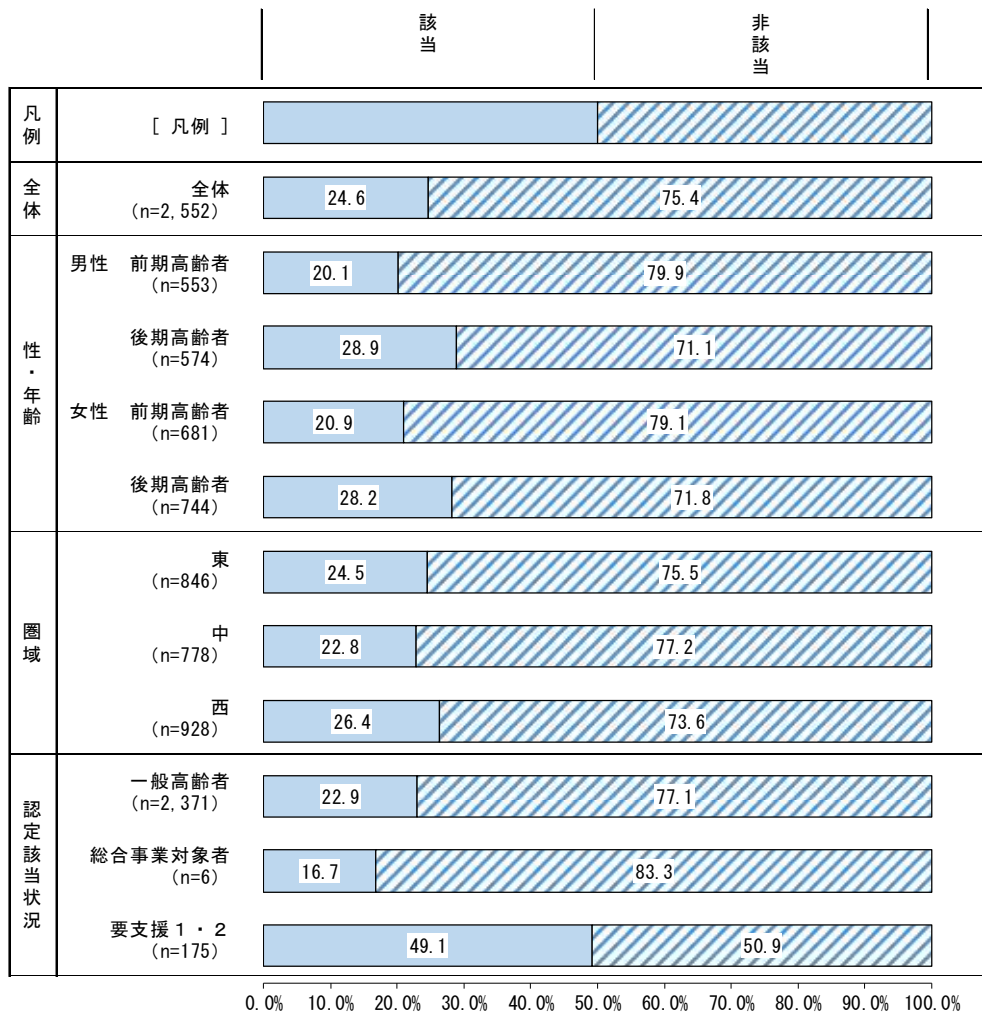
② 口腔機能低下のリスク

以下の設問に対して該当する場合は、口腔機能低下のリスクがある高齢者となります。

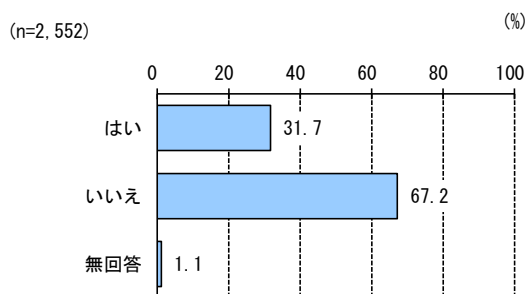
設問	選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つだけ）	はい
お茶や汁物等でむせることがありますか（1つだけ）	はい
口の渴きが気になりますか（1つだけ）	はい

口腔機能の低下リスクについて、「該当」が24.6%、「非該当」が75.4%となっています。

【口腔機能低下のリスク】



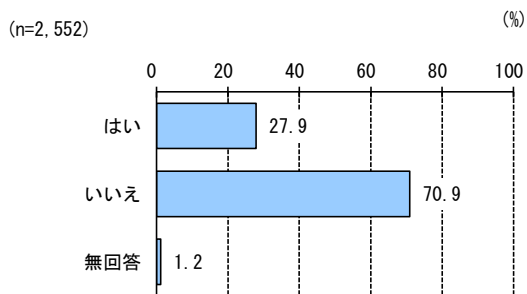
【参考：固いものが食べにくい】



単位：%

		母数 (n)	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,552	31.7	67.2	1.1
性・年齢	男性 前期高齢者	553	29.1	70.3	0.5
	後期高齢者	574	36.4	61.8	1.7
	女性 前期高齢者	681	22.0	76.9	1.0
	後期高齢者	744	39.0	59.9	1.1
圏域	東	846	35.0	63.4	1.7
	中	778	27.2	72.4	0.4
	西	928	32.5	66.3	1.2
認定該当状況	一般高齢者	2,371	30.1	68.9	1.1
	総合事業対象者	6	▼ 16.7	66.7	16.7
	要支援 1・2	175	△ 54.9	▼ 44.0	1.1

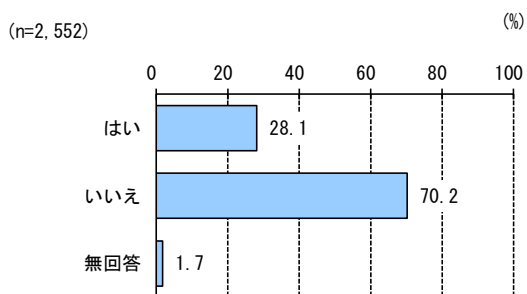
【参考：お茶や汁物等でむせることがあるか】



単位：%

		母数 (n)	お茶や汁物等でむせることがあるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,552	27.9	70.9	1.2
性・年齢	男性 前期高齢者	553	22.4	77.0	0.5
	後期高齢者	574	32.8	65.0	2.3
	女性 前期高齢者	681	27.5	71.7	0.9
	後期高齢者	744	28.6	70.3	1.1
圏域	東	846	28.3	70.1	1.7
	中	778	26.5	73.1	0.4
	西	928	28.8	69.8	1.4
認定該当状況	一般高齢者	2,371	26.6	72.3	1.1
	総合事業対象者	6	▼ 16.7	66.7	16.7
	要支援 1・2	175	△ 45.7	▼ 52.6	1.7

【参考：口の渇きが気になるか】



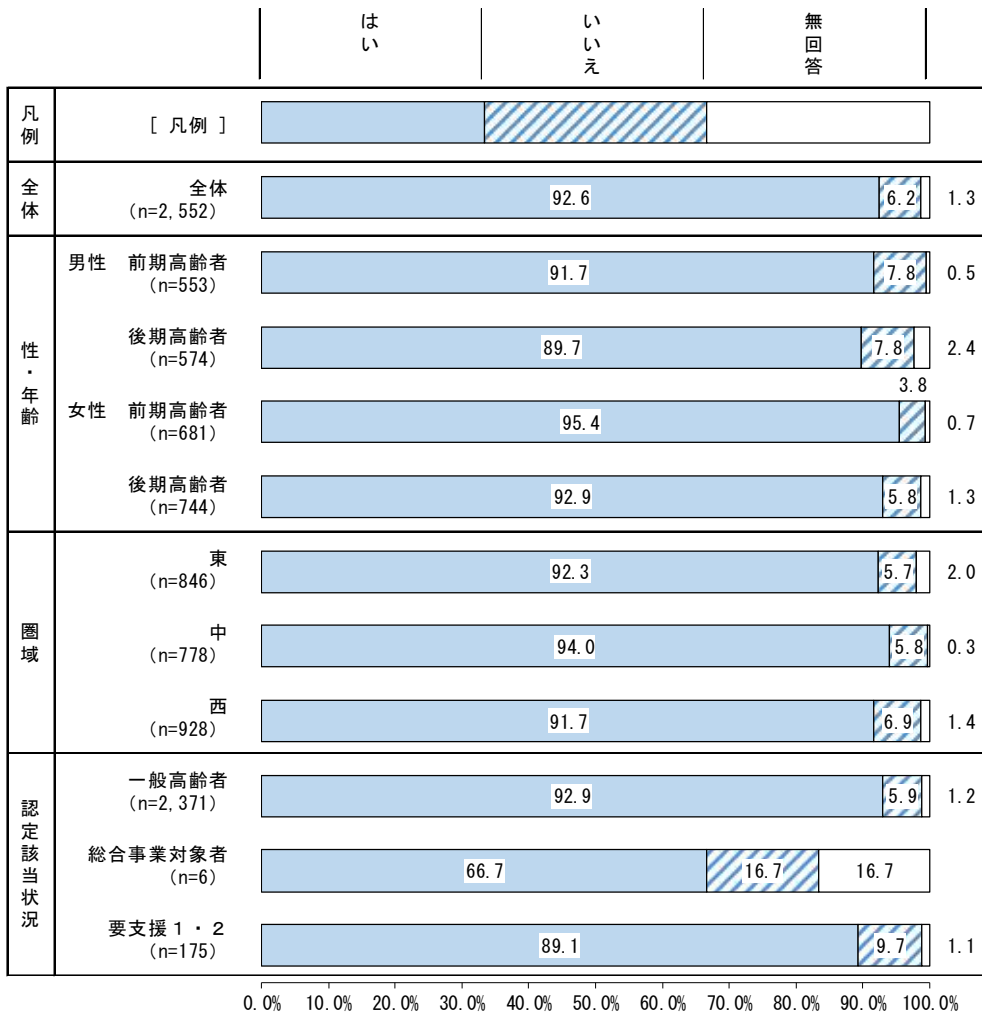
単位：%

		母数 (n)	口の渇きが気になるか		
			はい	いいえ	無回答
全体		2,552	28.1	70.2	1.7
性・年齢	男性 前期高齢者	553	24.6	74.7	0.7
	後期高齢者	574	29.8	67.8	2.4
	女性 前期高齢者	681	25.6	73.1	1.3
	後期高齢者	744	31.9	66.0	2.2
圏域	東	846	27.7	70.1	2.2
	中	778	28.3	70.4	1.3
	西	928	28.4	70.0	1.5
認定該当状況	一般高齢者	2,371	26.5	71.9	1.6
	総合事業対象者	6	33.3	▼ 50.0	16.7
	要支援 1・2	175	△ 49.7	▼ 47.4	2.9

③ 歯の状況

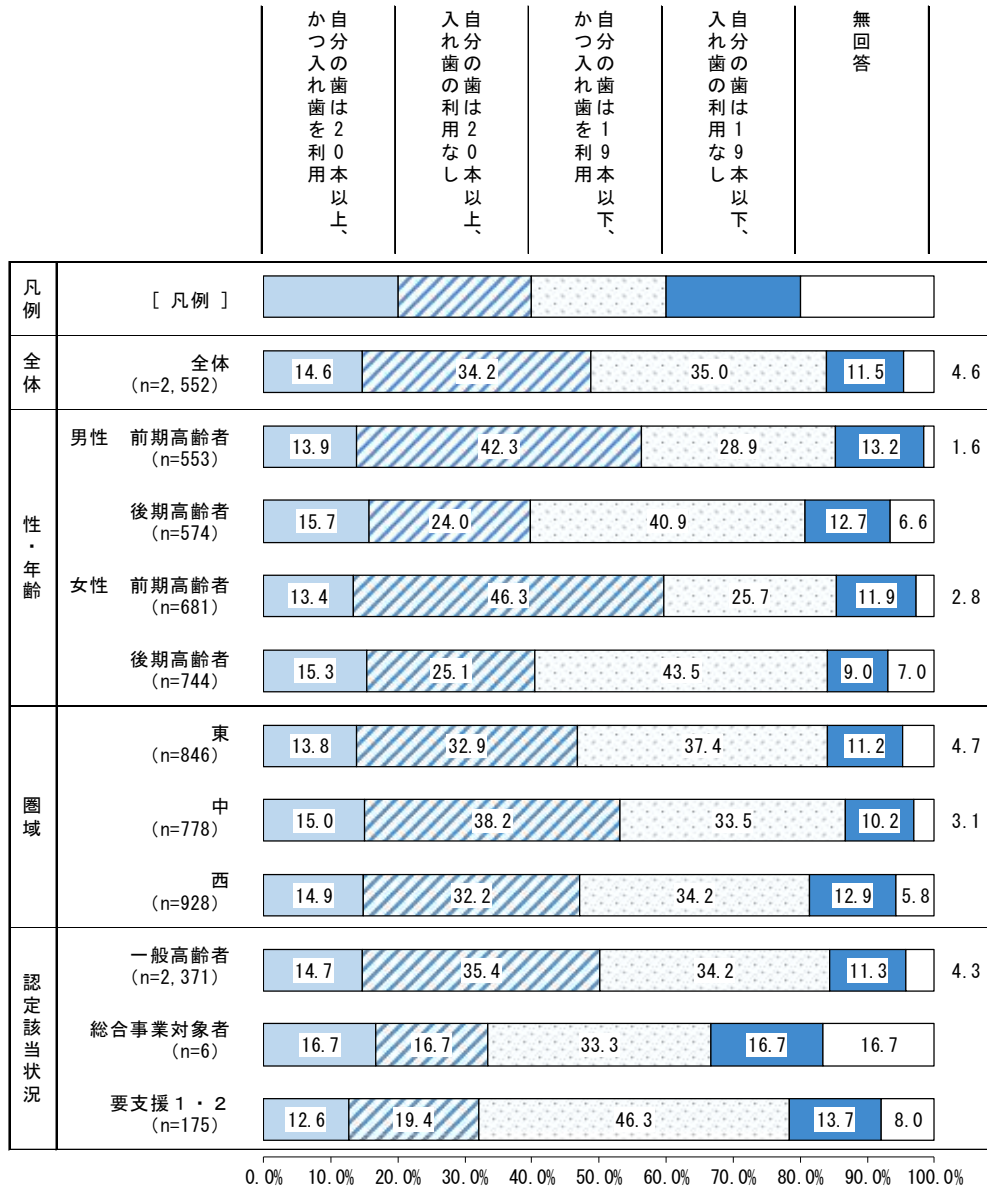
歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が92.6%、「いいえ」が6.2%となっています。

【歯磨きを毎日しているか】



歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.0%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が34.2%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.6%となっています。

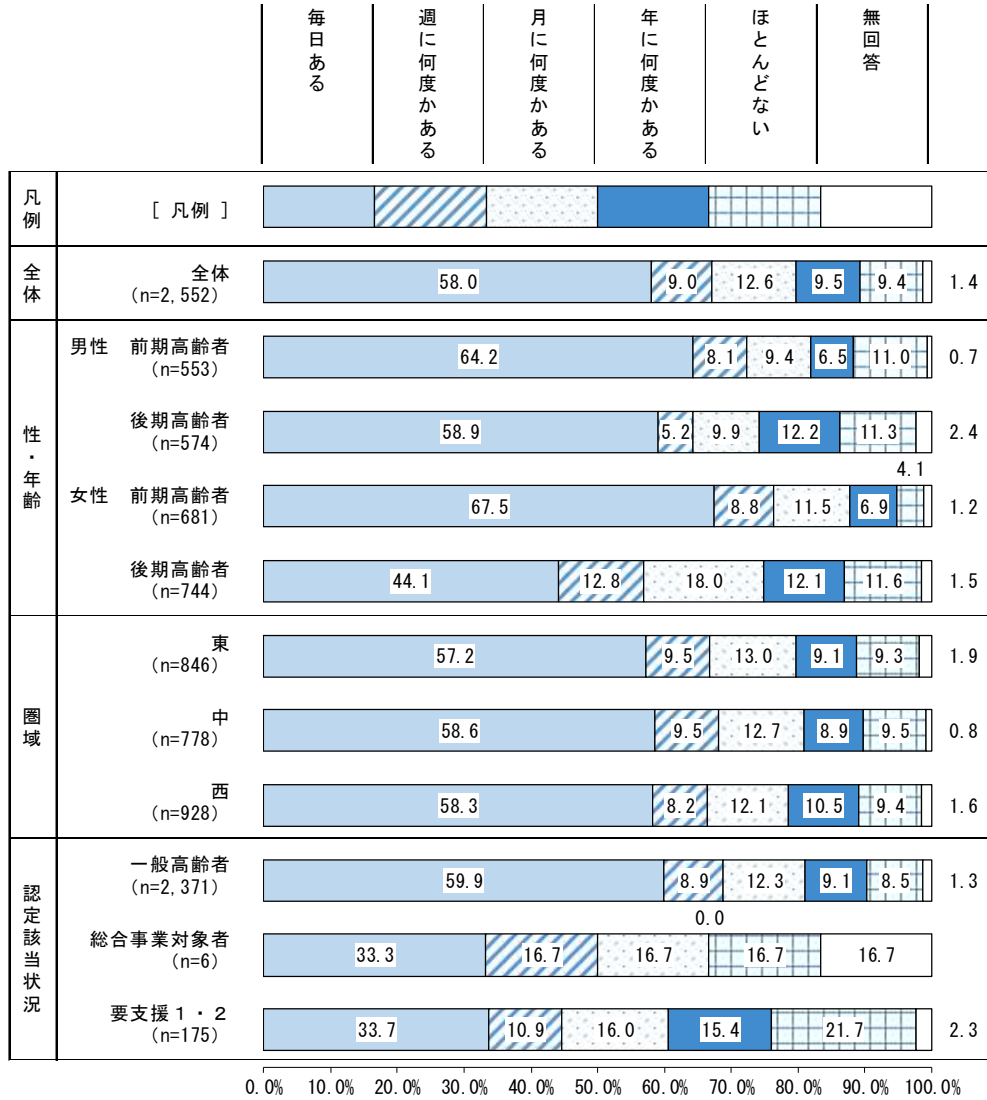
【歯の数と入れ歯の利用状況】



④ 共食の状況

共食の有無について、「毎日ある」が58.0%で最も多く、次いで「月に何度かある」が12.6%、「年に何度かある」が9.5%となっています。

【共食の状況】

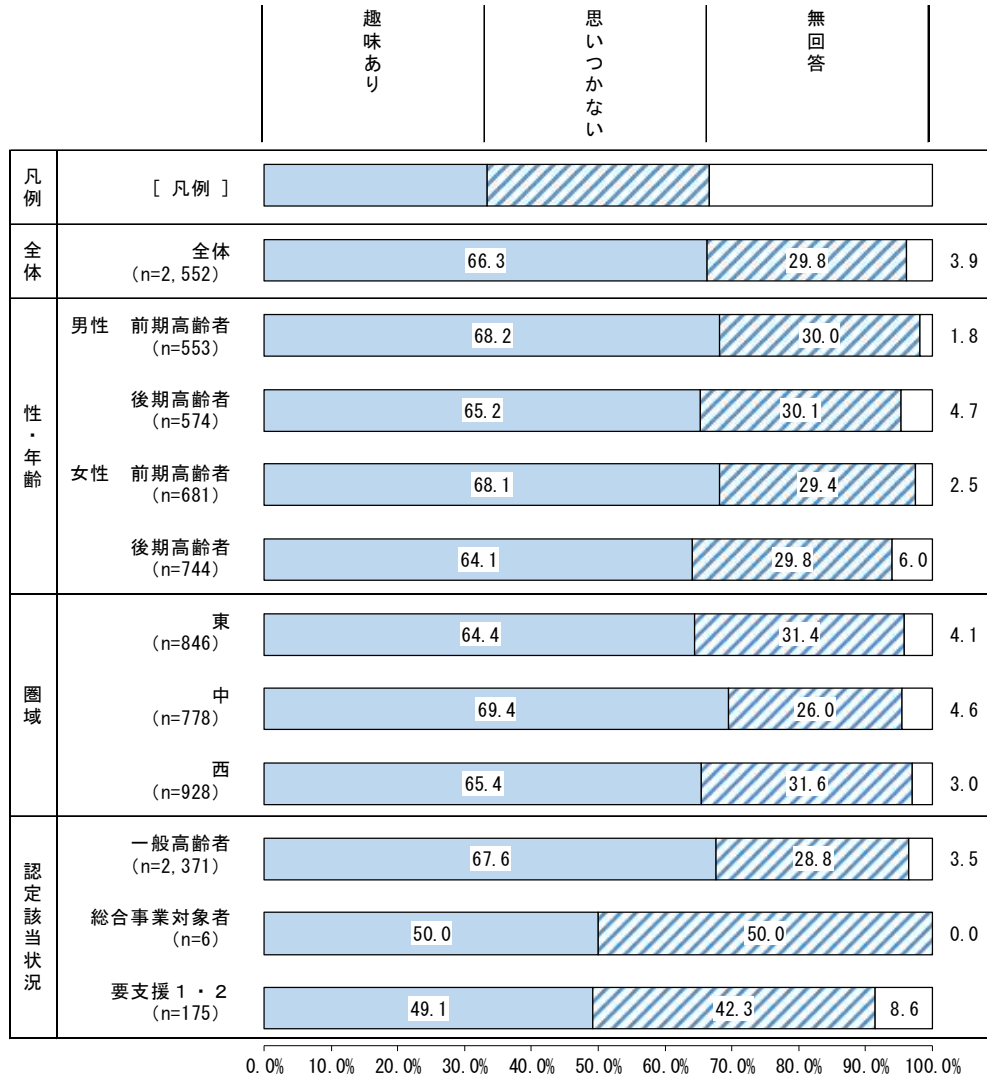


(5) 日常生活について

① 趣味・生きがいについて

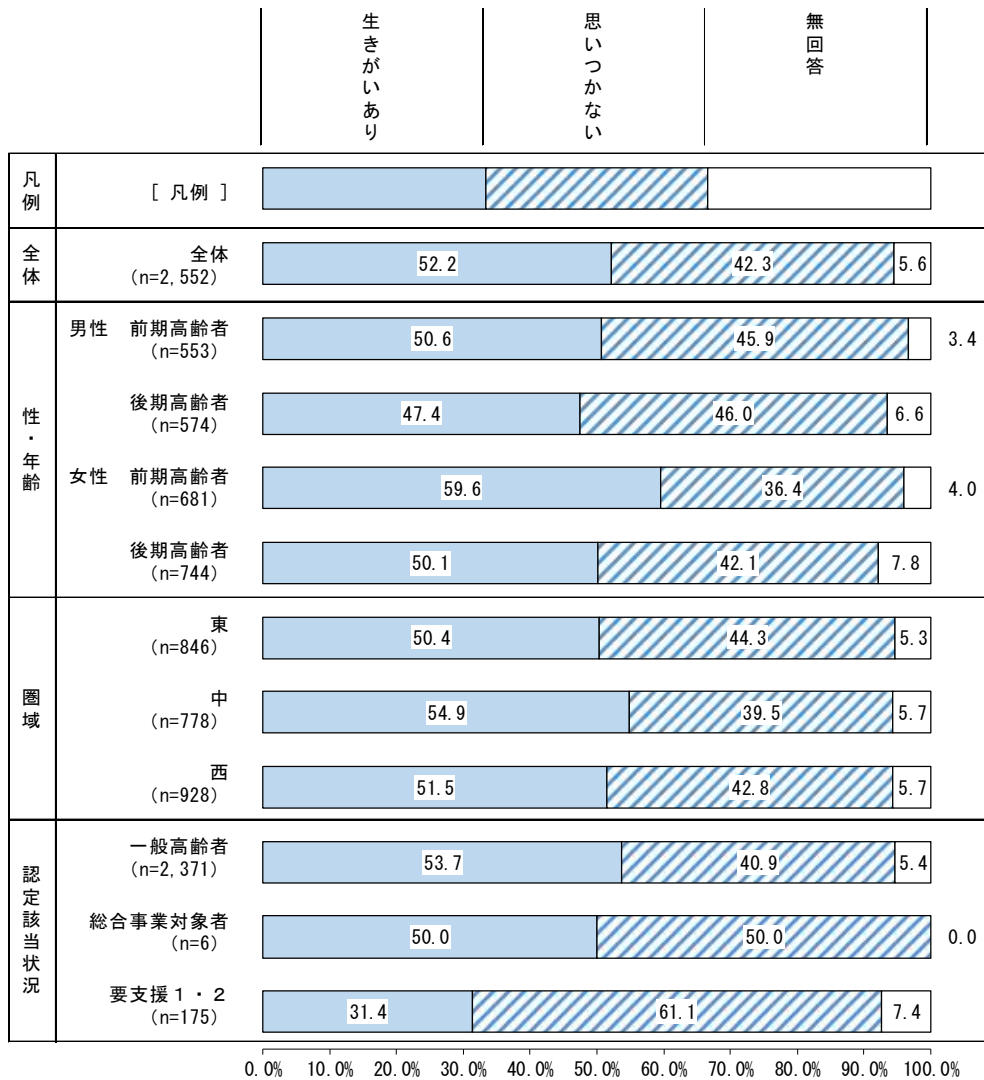
趣味の有無について、「趣味あり」が66.3%、「思いつかない」が29.8%となっています。

【趣味の有無】

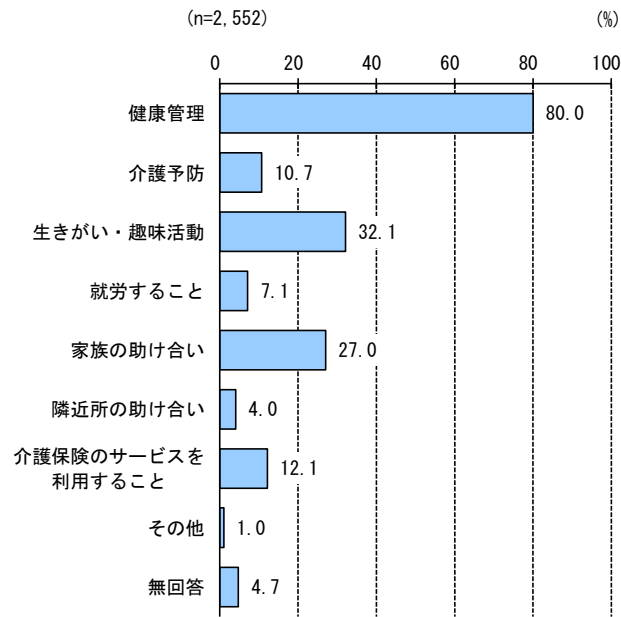


生きがいの有無について、「生きがいあり」が52.2%、「思いつかない」が42.3%となっています。

【生きがいの有無】



【参考：高齢者になっても自立した生活を送るために必要な事は何だと思いますか】



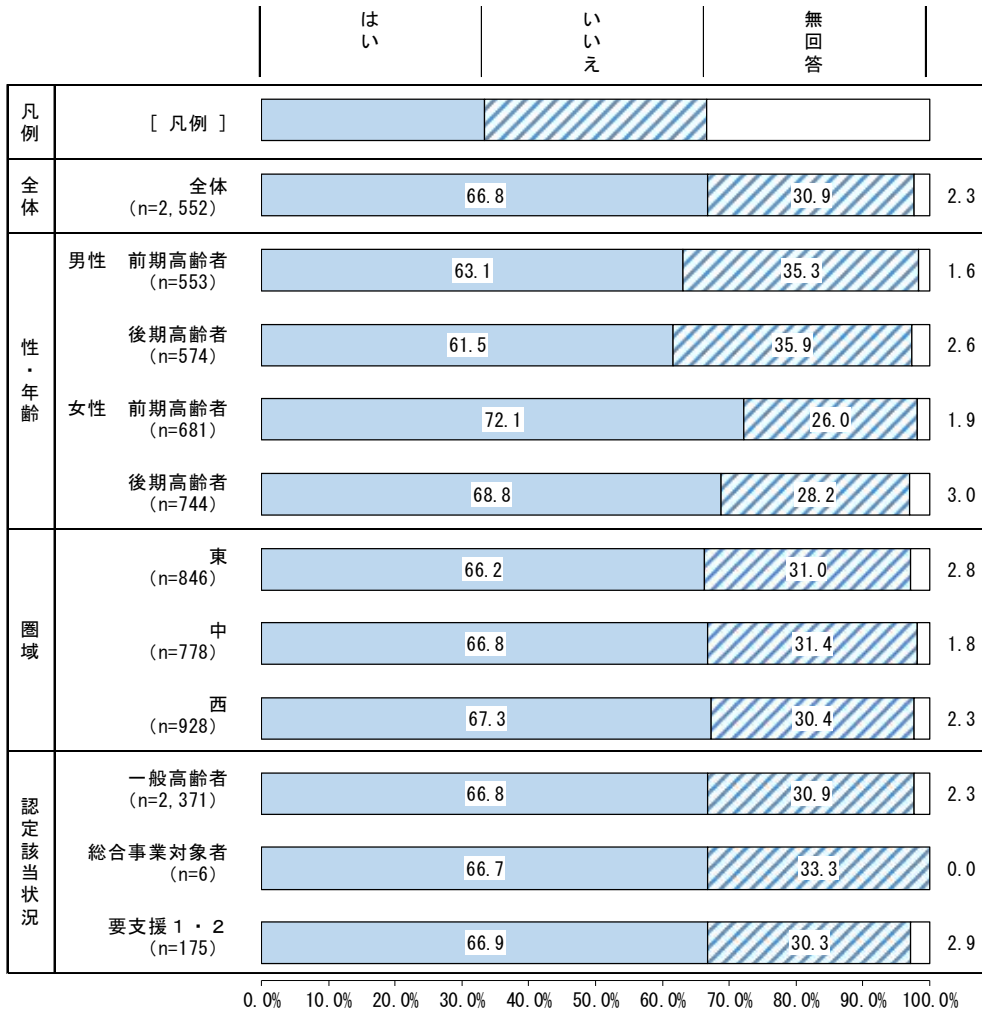
単位：%

	母数 (n)	自立した生活に必要なこと									
		健康管理	介護予防	生きがい・趣味活動	就労すること	家族の助け合い	隣近所の助け合い	介護保険のサービスを利用すること	その他	無回答	
全体	2,552	80.0	10.7	32.1	7.1	27.0	4.0	12.1	1.0	4.7	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	79.0	6.9	34.0	16.3	24.8	2.7	9.8	1.8	3.6
	後期高齢者	574	81.5	8.5	28.7	5.2	31.7	2.6	10.1	0.7	5.4
	女性 前期高齢者	681	80.2	15.4	34.5	6.0	25.8	3.1	13.7	1.2	4.3
	後期高齢者	744	79.3	10.8	30.9	2.6	26.2	6.9	14.1	0.4	5.2
圏域	東	846	81.2	11.5	32.3	5.9	27.1	3.8	11.5	1.1	4.8
	中	778	79.6	11.2	30.8	7.7	27.5	4.2	12.5	0.9	4.4
	西	928	79.2	9.5	32.9	7.5	26.6	4.0	12.5	1.0	4.7
認定該当状況	一般高齢者	2,371	80.9	10.2	33.0	7.5	27.5	3.7	11.2	1.0	4.3
	総合事業対象者	6	△100.0	-	△50.0	-	-	△16.7	16.7	-	-
	要支援1・2	175	▼67.4	17.7	▼18.9	1.7	21.7	7.4	△24.6	0.6	9.7

② コロナによる影響

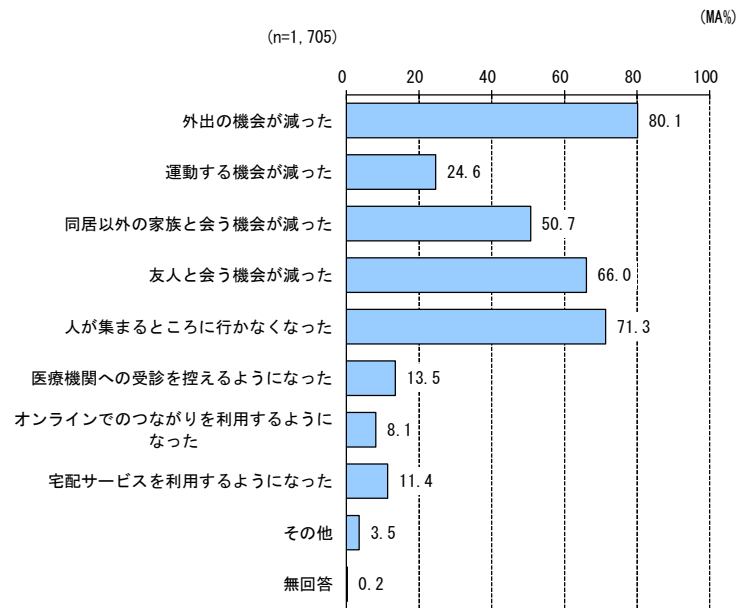
コロナによる影響があったかについて、「はい」が66.8%、「いいえ」が30.9%となっています。

【コロナによる影響があったか】



どのような変化があったかについて、「外出の機会が減った」が80.1%で最も多く、次いで「人が集まるところに行かなくなった」が71.3%、「友人と会う機会が減った」が66.0%となっています。

【どのような変化があったか】



単位：%

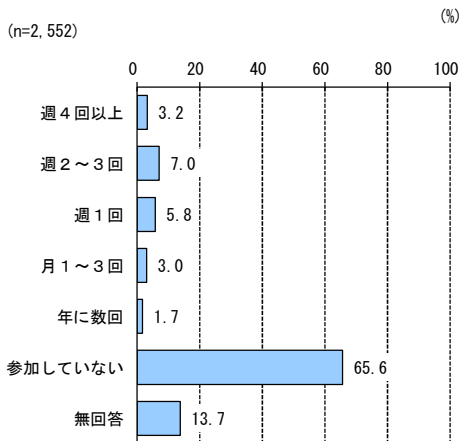
	母数 (n)	どのような変化があったか										
		外出の機会が減った	運動する機会が減った	同居以外の家族と会う機会が減った	友人と会う機会が減った	人が集まるところに行かなくなった	医療機関への受診を控えるようになった	オンラインでのつながりを利用するようになった	宅配サービスを利用するようになった	その他	無回答	
全体	1,705	80.1	24.6	50.7	66.0	71.3	13.5	8.1	11.4	3.5	0.2	
性・年齢	男性 前期高齢者	349	74.2	23.5	44.1	60.7	70.5	13.2	12.6	9.2	2.9	-
	後期高齢者	353	77.6	28.6	59.8	58.6	70.8	11.9	5.9	10.5	2.5	0.3
	女性 前期高齢者	491	80.4	21.0	49.5	72.9	73.5	17.1	10.2	12.4	3.7	0.2
	後期高齢者	512	85.5	26.2	50.2	68.2	70.1	11.3	4.5	12.5	4.3	0.4
圏域	東	560	81.1	23.4	49.5	66.6	69.3	13.4	8.2	11.4	3.4	0.5
	中	520	78.7	27.7	53.1	67.1	73.7	14.4	8.3	12.5	4.4	0.2
	西	625	80.5	23.2	49.9	64.6	71.2	12.8	7.8	10.4	2.7	-
認定該当状況	一般高齢者	1,584	80.0	23.7	51.0	66.1	71.8	13.3	8.3	10.4	3.5	0.2
	総合事業対象者	4	75.0	△ 75.0	50.0	75.0	▼ 25.0	△ 50.0	-	△ 50.0	-	-
	要支援 1・2	117	82.1	△ 35.0	47.0	65.0	65.8	14.5	6.0	△ 23.1	2.6	0.9

(6) 社会参加について

① ボランティア等への参加

スポーツ関係のグループやクラブ、趣味関係のグループ、町内会・自治会に参加している人が20%以上と比較的多くなっています。

【スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度】

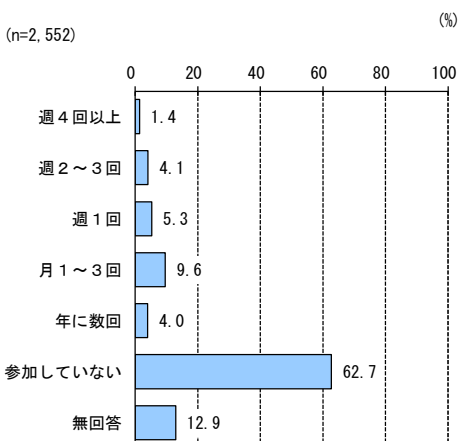


②スポーツ関係のグループやクラブ

単位：%

	母数 (n)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
		全体	2,552	3.2	7.0	5.8	3.0	1.7	65.6
性・年齢	男性 前期高齢者	553	3.1	3.6	2.9	3.3	4.0	76.7	6.5
	後期高齢者	574	3.3	4.9	3.5	3.0	2.1	68.8	14.5
	女性 前期高齢者	681	3.7	9.3	9.1	3.5	0.6	62.0	11.9
	後期高齢者	744	2.8	9.0	6.7	2.3	0.8	58.2	20.2
圏域	東	846	2.5	6.3	4.4	2.5	1.3	69.5	13.6
	中	778	2.8	9.0	6.0	2.7	2.7	64.7	12.1
	西	928	4.2	5.9	6.9	3.7	1.3	62.8	15.2
認定該当 状況	一般高齢者	2,371	3.4	7.2	6.0	3.1	1.8	65.1	13.3
	総合事業対象者	6	-	-	16.7	-	-	66.7	16.7
	要支援1・2	175	0.6	4.6	2.3	1.1	0.6	72.0	18.9

【趣味関係のグループへの参加頻度】

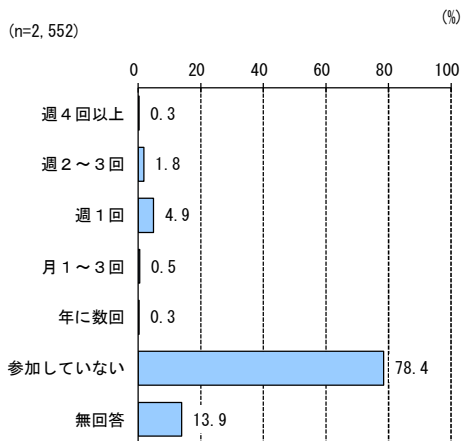


③趣味関係のグループ

単位：%

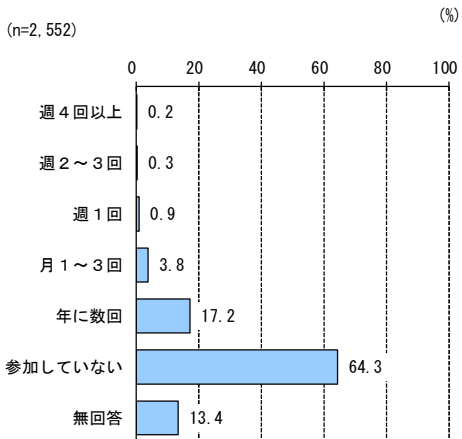
	母数 (n)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
		全体	2,552	1.4	4.1	5.3	9.6	4.0	62.7
性・年齢	男性 前期高齢者	553	1.3	2.2	4.2	6.7	6.9	72.5	6.3
	後期高齢者	574	1.9	3.5	3.3	7.8	5.7	63.1	14.6
	女性 前期高齢者	681	1.0	4.1	8.1	11.7	2.2	61.8	11.0
	後期高齢者	744	1.6	5.9	5.0	11.3	2.2	56.0	18.0
圏域	東	846	0.9	3.7	4.1	10.3	4.1	64.4	12.4
	中	778	1.3	5.5	6.7	10.7	4.8	59.9	11.2
	西	928	2.0	3.2	5.1	8.2	3.2	63.6	14.7
認定該当 状況	一般高齢者	2,371	1.5	4.2	5.4	10.2	4.1	62.5	12.2
	総合事業対象者	6	-	-	-	-	-	66.7	33.3
	要支援1・2	175	1.1	2.9	4.0	2.9	2.9	65.1	21.1

【はびきのウェルネス、高年生きがいサロン、いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場への参加頻度】



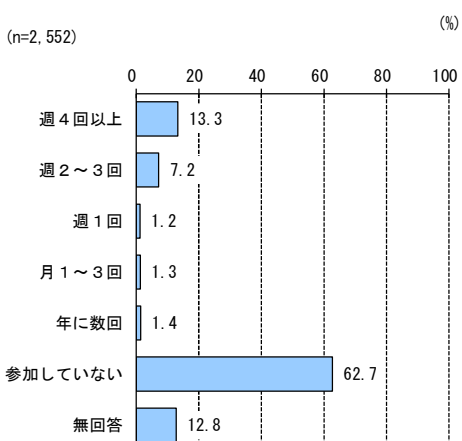
	母数 (n)	⑤介護予防のための通いの場						参加していない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない		
全体	2,552	0.3	1.8	4.9	0.5	0.3	78.4	13.9	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	-	0.9	1.1	-	-	91.1	6.9
	後期高齢者	574	0.2	0.7	2.8	0.3	0.3	80.1	15.5
	女性 前期高齢者	681	0.3	1.0	6.0	0.3	0.1	80.5	11.7
	後期高齢者	744	0.5	3.9	8.2	1.1	0.5	65.9	19.9
圏域	東	846	0.1	2.5	3.8	0.7	0.4	78.8	13.7
	中	778	0.3	1.0	6.4	0.5	0.4	79.9	11.4
	西	928	0.4	1.7	4.5	0.2	0.1	76.8	16.2
認定該当状況	一般高齢者	2,371	0.3	1.5	4.6	0.5	0.3	79.1	13.7
	総合事業対象者	6	-	-	-	-	-	83.3	16.7
	要支援1・2	175	-	5.1	8.0	-	-	69.7	17.1

【町内会・自治会への参加頻度】



	母数 (n)	⑦町内会・自治会						参加していない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない		
全体	2,552	0.2	0.3	0.9	3.8	17.2	64.3	13.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	0.4	0.2	0.9	5.4	18.1	68.9	6.1
	後期高齢者	574	0.2	0.2	0.5	3.8	19.3	62.0	13.9
	女性 前期高齢者	681	0.1	0.3	0.6	2.5	19.4	65.9	11.2
	後期高齢者	744	0.1	0.4	1.6	3.6	12.8	61.0	20.4
圏域	東	846	0.2	0.2	1.2	4.1	19.1	62.2	12.9
	中	778	0.1	0.5	0.9	3.3	17.5	66.3	11.3
	西	928	0.2	0.1	0.8	3.8	15.1	64.4	15.6
認定該当状況	一般高齢者	2,371	0.2	0.3	0.9	4.0	17.9	63.9	12.8
	総合事業対象者	6	-	-	-	-	-	66.7	33.3
	要支援1・2	175	-	-	1.7	1.1	8.0	68.6	20.6

【収入のある仕事への参加頻度】

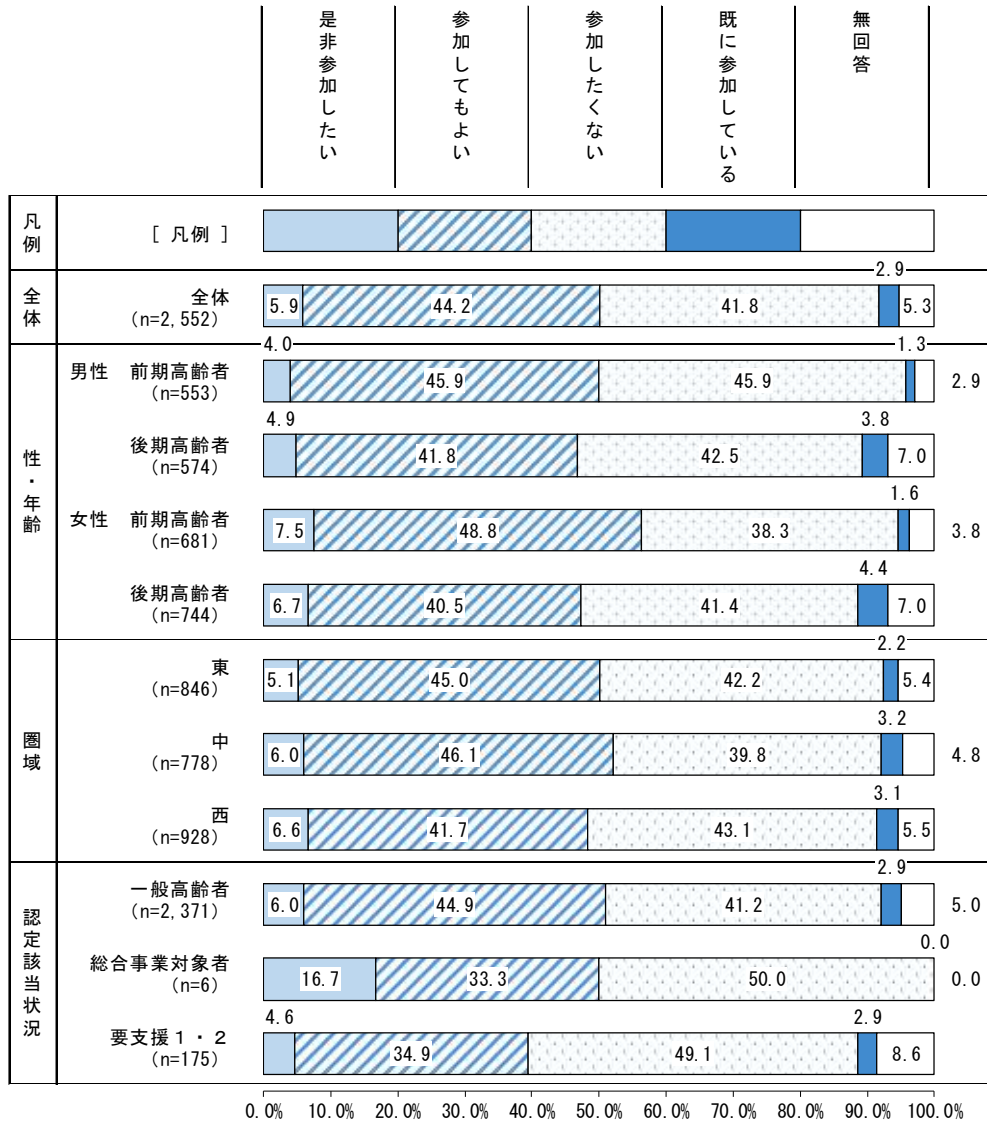


	母数 (n)	⑧収入のある仕事						参加していない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない		
全体	2,552	13.3	7.2	1.2	1.3	1.4	62.7	12.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	31.5	11.4	2.0	2.5	1.1	46.3	5.2
	後期高齢者	574	7.5	5.4	0.7	1.2	3.3	66.6	15.3
	女性 前期高齢者	681	15.1	10.7	1.6	1.2	1.0	62.0	8.4
	後期高齢者	744	2.6	2.4	0.7	0.5	0.5	72.7	20.6
圏域	東	846	13.0	7.7	1.7	1.4	1.9	60.9	13.5
	中	778	12.6	6.3	1.3	1.4	1.5	66.2	10.7
	西	928	14.1	7.7	0.8	1.1	0.9	61.5	14.0
認定該当状況	一般高齢者	2,371	14.2	7.6	1.3	1.4	1.3	62.1	12.1
	総合事業対象者	6	-	-	-	-	-	66.7	33.3
	要支援1・2	175	1.7	2.3	0.6	-	2.3	71.4	21.7

② 地域づくり活動への参加意向

地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が44.2%で最も多く、次いで「参加したくない」が41.8%、「是非参加したい」が5.9%となっています。

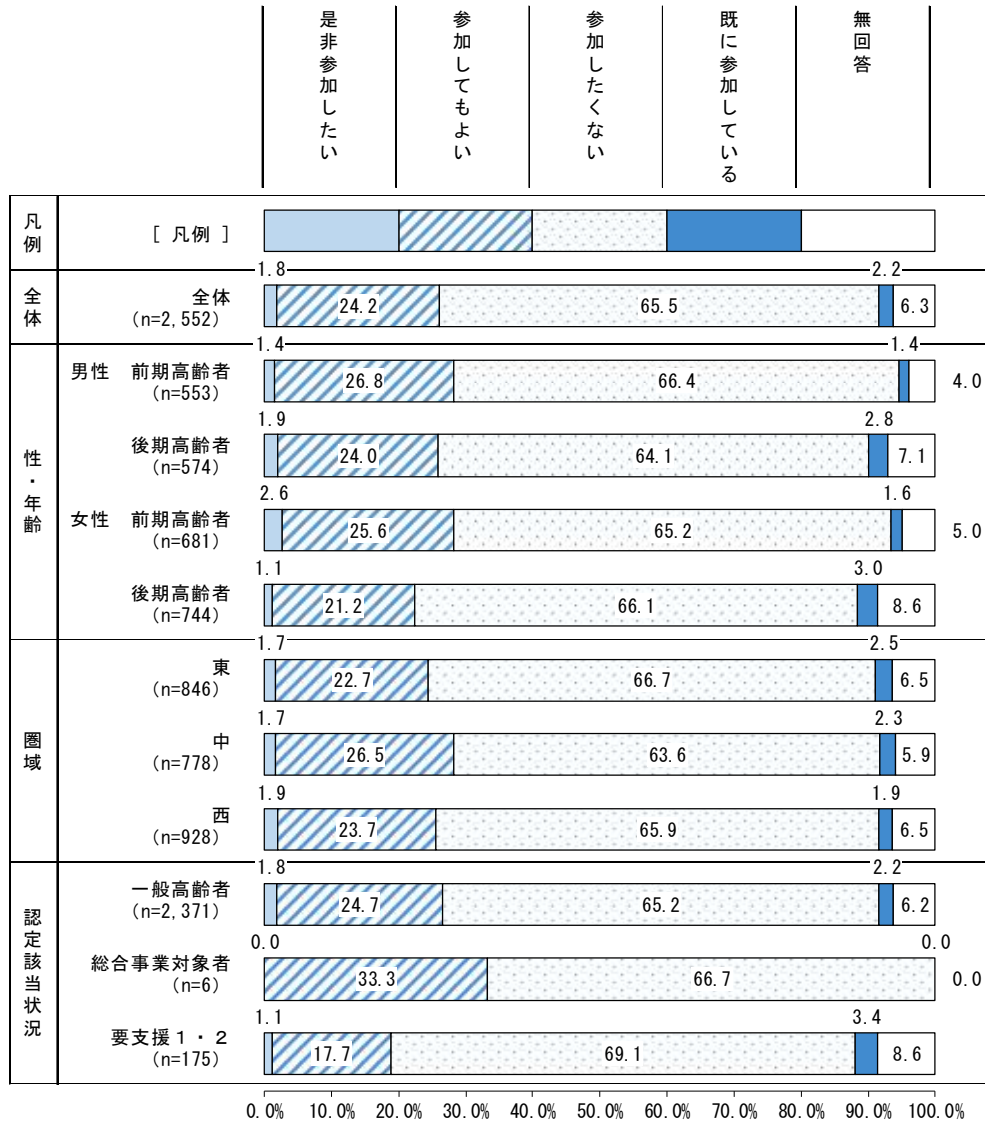
【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



③ 地域づくり活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向

地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が65.5%で最も多く、次いで「参加してもよい」が24.2%、「既に参加している」が2.2%となっています。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】

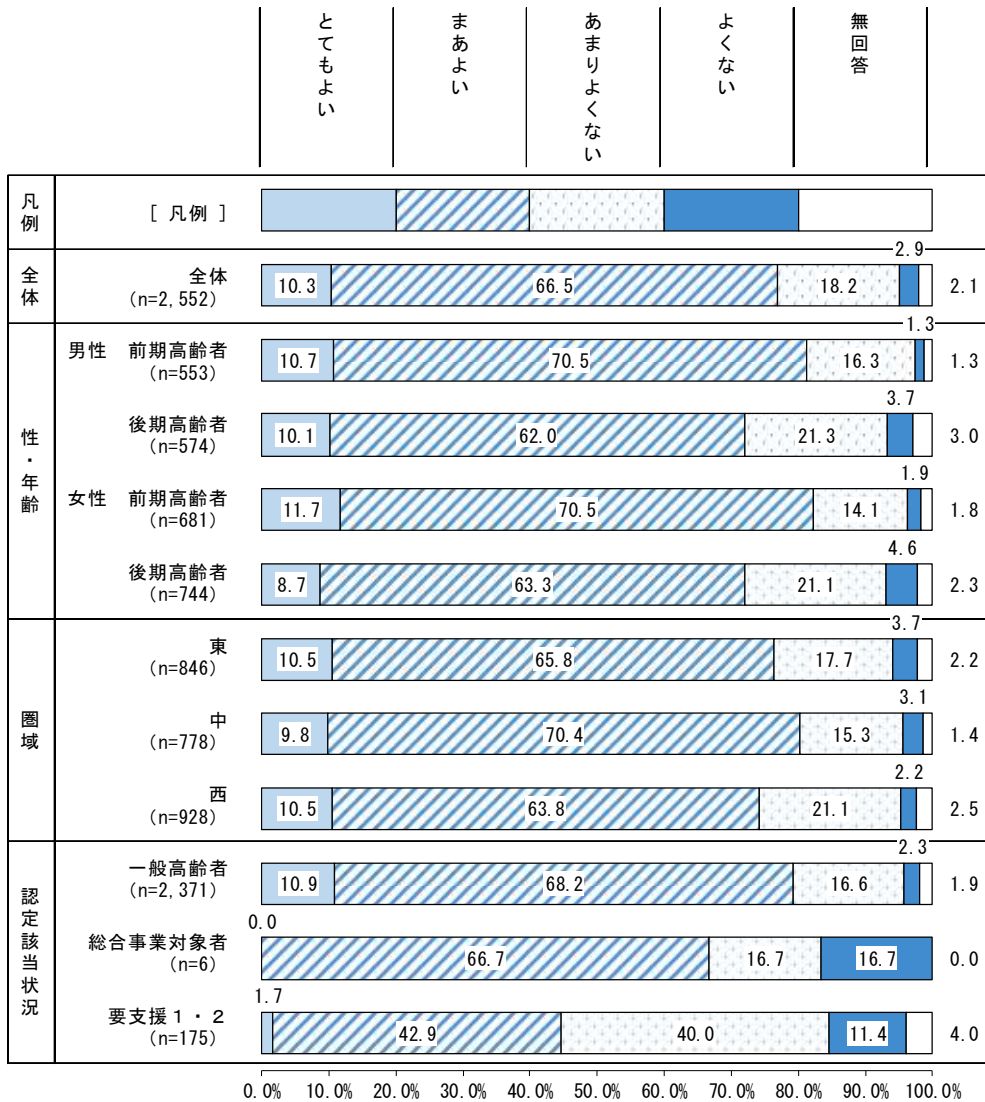


(7) 健康について

① 主観的健康感

主観的健康感について、「まあよい」が 66.5%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 18.2%、「とてもよい」が 10.3%となっています。

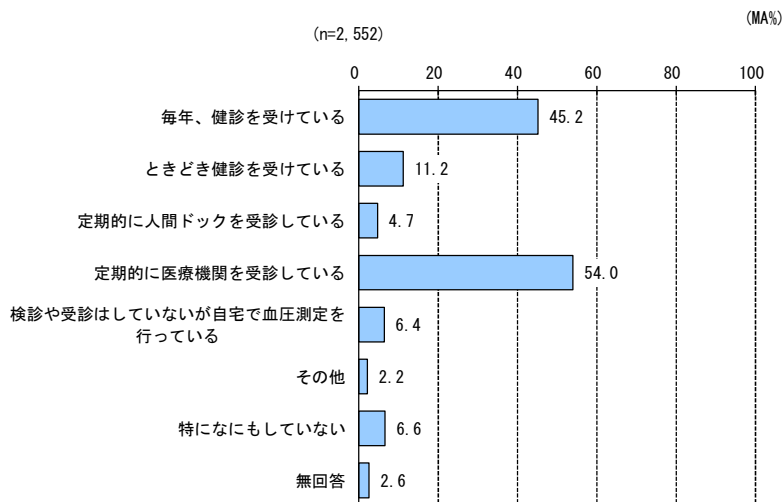
【主観的健康感】



② 普段の健康管理

普段の健康管理について、「定期的に医療機関を受診している」が54.0%で最も多く、次いで「毎年、健診を受けている」が45.2%、「ときどき健診を受けている」が11.2%となっています。

【普段、定期的に健康管理をしているか（複数回答）】



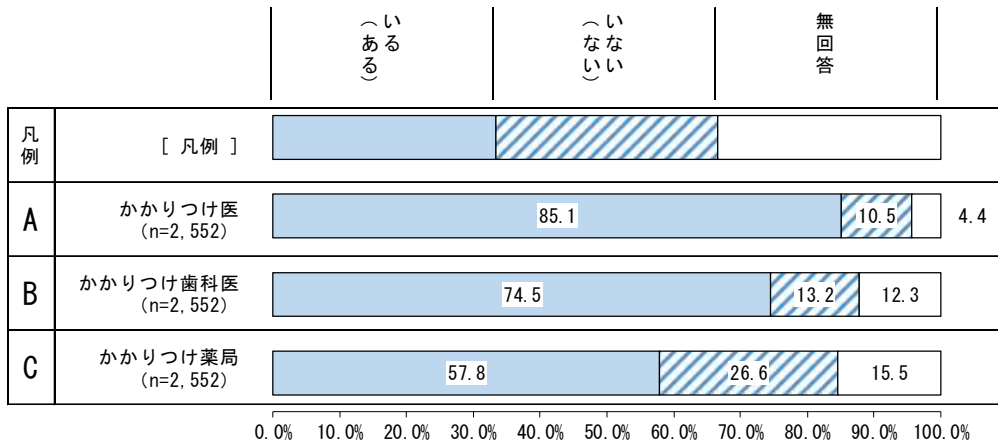
単位：%

	母数 (n)	普段の健康管理								
		毎年、健診を受けている	ときどき健診を受けている	定期的に人間ドックを受診している	定期的に医療機関を受診している	自検診や受診はしていないが自宅で血圧測定を行っている	その他	特になにもしていない	無回答	
全体	2,552	45.2	11.2	4.7	54.0	6.4	2.2	6.6	2.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	46.7	11.6	9.0	49.7	5.4	1.6	7.2	1.8
	後期高齢者	574	39.0	10.8	3.8	59.8	7.8	1.0	7.1	3.3
	女性 前期高齢者	681	51.5	11.3	5.6	46.3	4.4	2.8	6.8	1.5
	後期高齢者	744	43.0	11.0	1.5	59.7	7.8	3.0	5.5	3.8
圏域	東	846	42.1	9.8	5.3	55.1	6.4	2.8	7.6	2.4
	西	928	47.2	12.0	6.4	53.6	6.2	1.5	5.7	2.2
認定該当状況	総合事業対象者	6	50.0	-	-	50.0	-	-	△ 33.3	-
	要支援 1・2	175	▼ 31.4	11.4	2.3	△ 70.9	9.1	2.9	1.7	5.1
	一般高齢者	2,371	46.2	11.2	4.9	52.7	6.2	2.2	6.9	2.4

③ かかりつけ医

かかりつけ医について、「いる」が85.1%、「いない」が10.5%となっています。
 かかりつけ歯科医について、「いる」が74.5%、「いない」が13.2%となっています。
 かかりつけ薬局について、「ある」が57.8%、「ない」が26.6%となっています。

【身近な医療の専門家の有無】



【かかりつけ医の有無】

【かかりつけ歯科医の有無】

単位：%

	母数 (n)	かかりつけ医			
		いる	いない	無回答	
全体	2,552	85.1	10.5	4.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	81.7	15.9	2.4
	後期高齢者	574	85.9	6.1	8.0
	女性 前期高齢者	681	82.2	15.1	2.6
	後期高齢者	744	89.5	5.8	4.7
圏域	東	846	84.2	11.8	4.0
	中	778	84.7	10.7	4.6
	西	928	86.2	9.3	4.5
認定該当状況	一般高齢者	2,371	84.5	11.2	4.3
	総合事業対象者	6	△100.0	-	-
	要支援1・2	175	92.6	1.7	5.7

単位：%

	母数 (n)	かかりつけ歯科医			
		いる	いない	無回答	
全体	2,552	74.5	13.2	12.3	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	68.9	21.0	10.1
	後期高齢者	574	69.7	11.8	18.5
	女性 前期高齢者	681	79.9	13.4	6.8
	後期高齢者	744	77.4	8.5	14.1
圏域	東	846	75.1	13.1	11.8
	中	778	77.6	11.7	10.7
	西	928	71.3	14.7	14.0
認定該当状況	一般高齢者	2,371	74.7	13.5	11.8
	総合事業対象者	6	83.3	16.7	-
	要支援1・2	175	72.0	9.1	18.9

【かかりつけ薬局の有無】

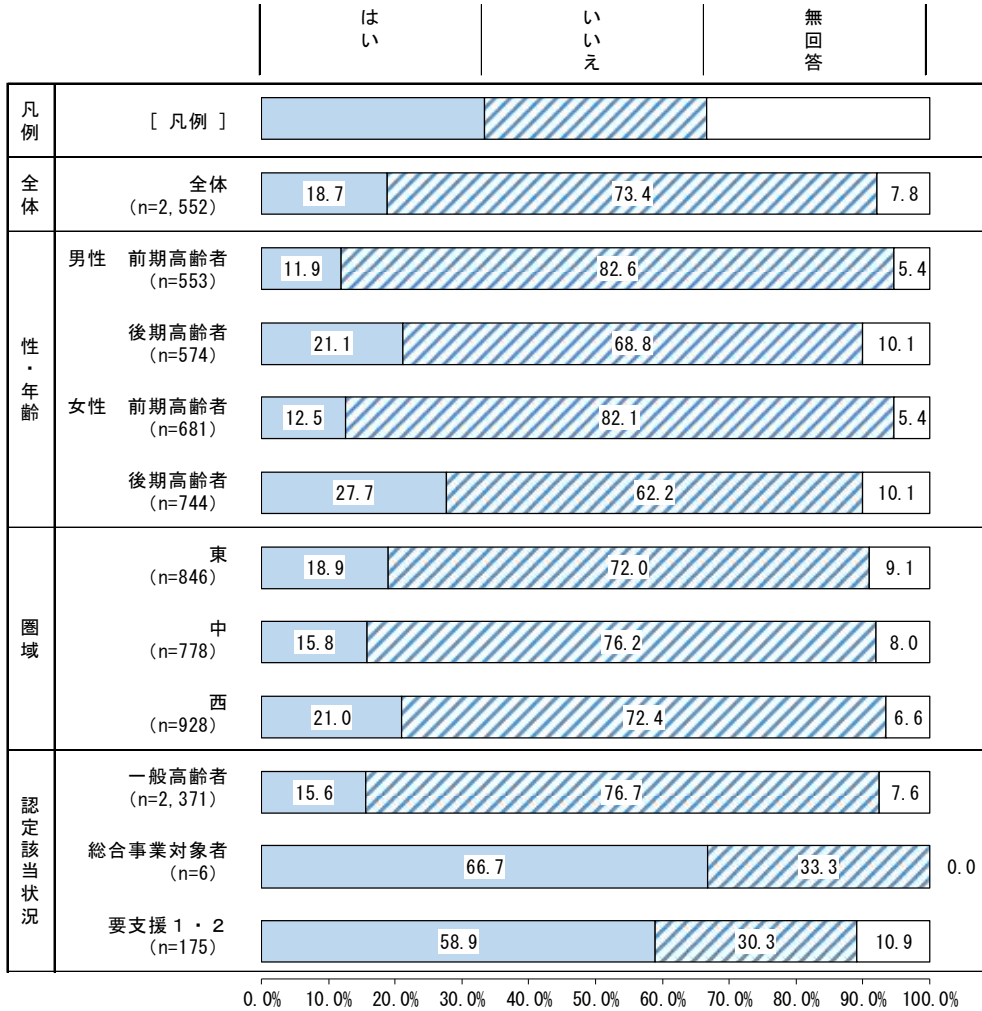
単位：%

	母数 (n)	かかりつけ薬局			
		ある	ない	無回答	
全体	2,552	57.8	26.6	15.5	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	51.0	△36.9	12.1
	後期高齢者	574	57.1	19.3	23.5
	女性 前期高齢者	681	56.7	33.5	9.8
	後期高齢者	744	64.5	18.4	17.1
圏域	東	846	58.5	27.0	14.5
	中	778	53.1	31.0	15.9
	西	928	61.2	22.7	16.1
認定該当状況	一般高齢者	2,371	56.9	27.9	15.2
	総合事業対象者	6	66.7	33.3	-
	要支援1・2	175	△70.3	▼9.1	20.6

④ 健康上の問題による、日常生活への影響

健康上の問題による、日常生活への影響について、「はい」が18.7%、「いいえ」が73.4%となっています。

【健康上の問題による、日常生活への影響】



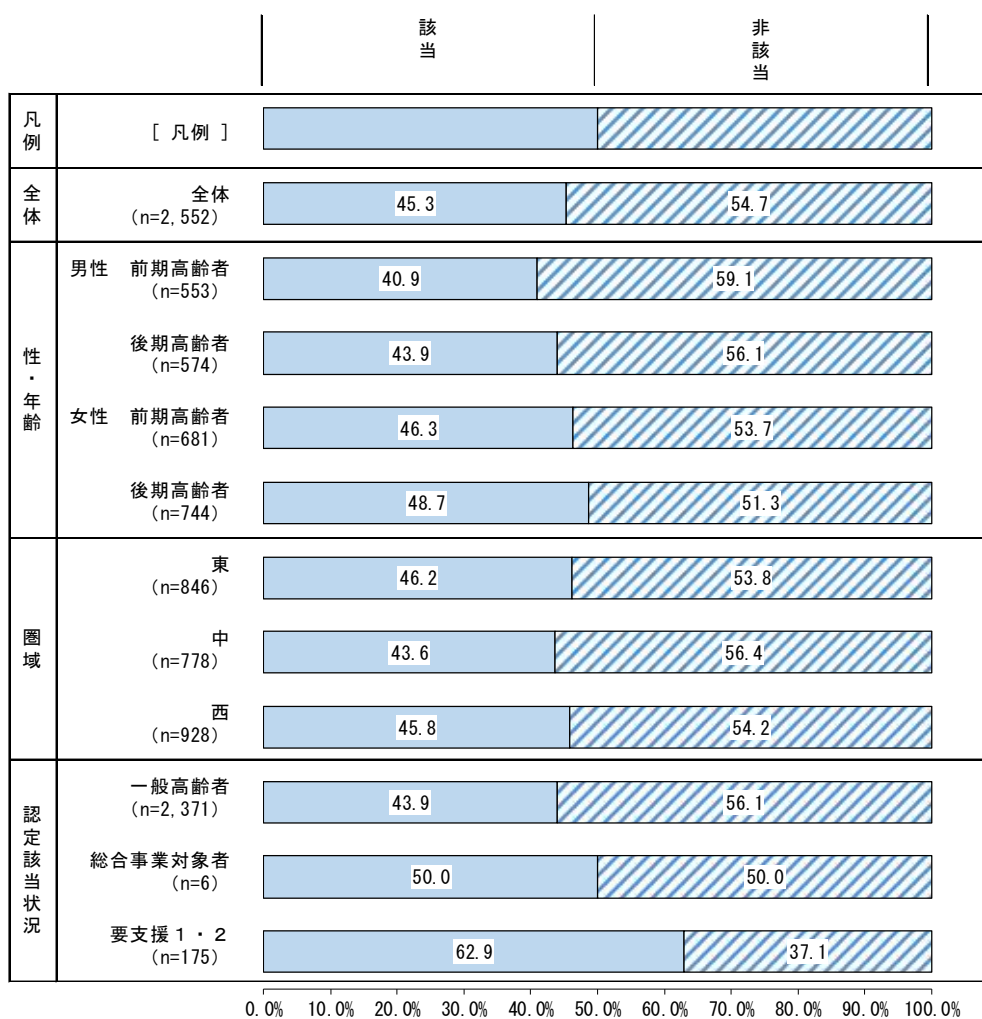
⑤ うつのリスク

以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

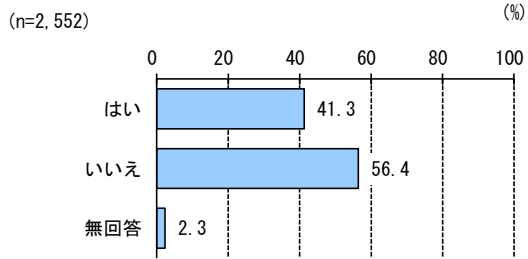
設問	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

うつのリスクについて、「該当」が45.3%、「非該当」が54.7%となっています。

【うつのリスク】



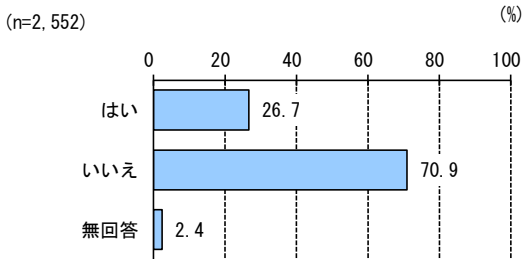
【参考：気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか】



単位：%

	母数 (n)	気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	2,552	41.3	56.4	2.3	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	37.3	61.5	1.3
	後期高齢者	574	37.6	59.4	3.0
	女性 前期高齢者	681	44.6	53.5	1.9
	後期高齢者	744	44.2	53.0	2.8
圏域	東	846	42.4	55.3	2.2
	中	778	39.1	59.0	1.9
	西	928	42.2	55.2	2.6
認定該当状況	一般高齢者	2,371	40.3	57.6	2.1
	総合事業対象者	6	33.3	△ 66.7	-
	要支援1・2	175	△ 56.0	▼ 39.4	4.6

【参考：どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか】



単位：%

	母数 (n)	どうしても物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	2,552	26.7	70.9	2.4	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	23.9	74.7	1.4
	後期高齢者	574	28.2	68.6	3.1
	女性 前期高齢者	681	23.6	74.6	1.8
	後期高齢者	744	30.4	66.5	3.1
圏域	東	846	27.8	70.0	2.2
	中	778	24.4	74.0	1.5
	西	928	27.6	69.2	3.2
認定該当状況	一般高齢者	2,371	24.9	72.8	2.3
	総合事業対象者	6	△ 50.0	▼ 50.0	-
	要支援1・2	175	△ 49.7	▼ 46.3	4.0

(8) 認知症について

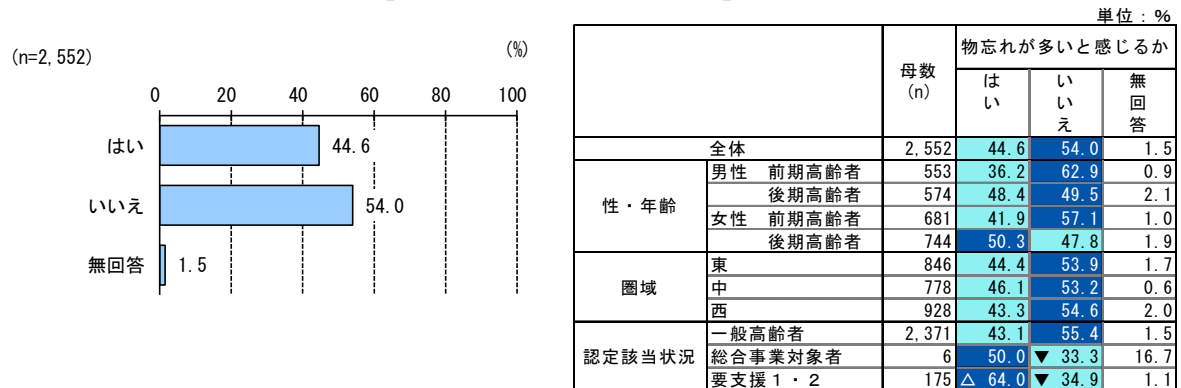
① 認知症のリスク

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が44.6%、「いいえ」が54.0%となっています。

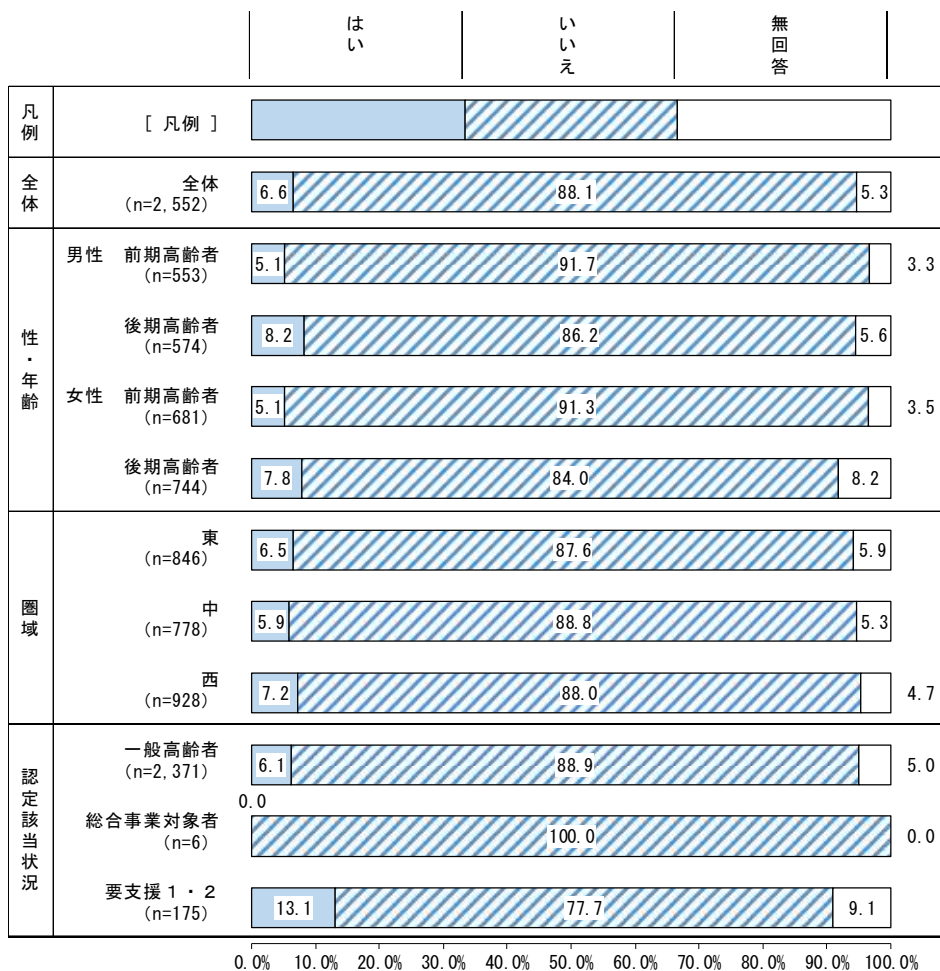
【物忘れが多いと感じるか】



② 自身または家族の認知症の状況

自身や家族の認知症の症状有無について、「はい」が6.6%、「いいえ」が88.1%となっています。

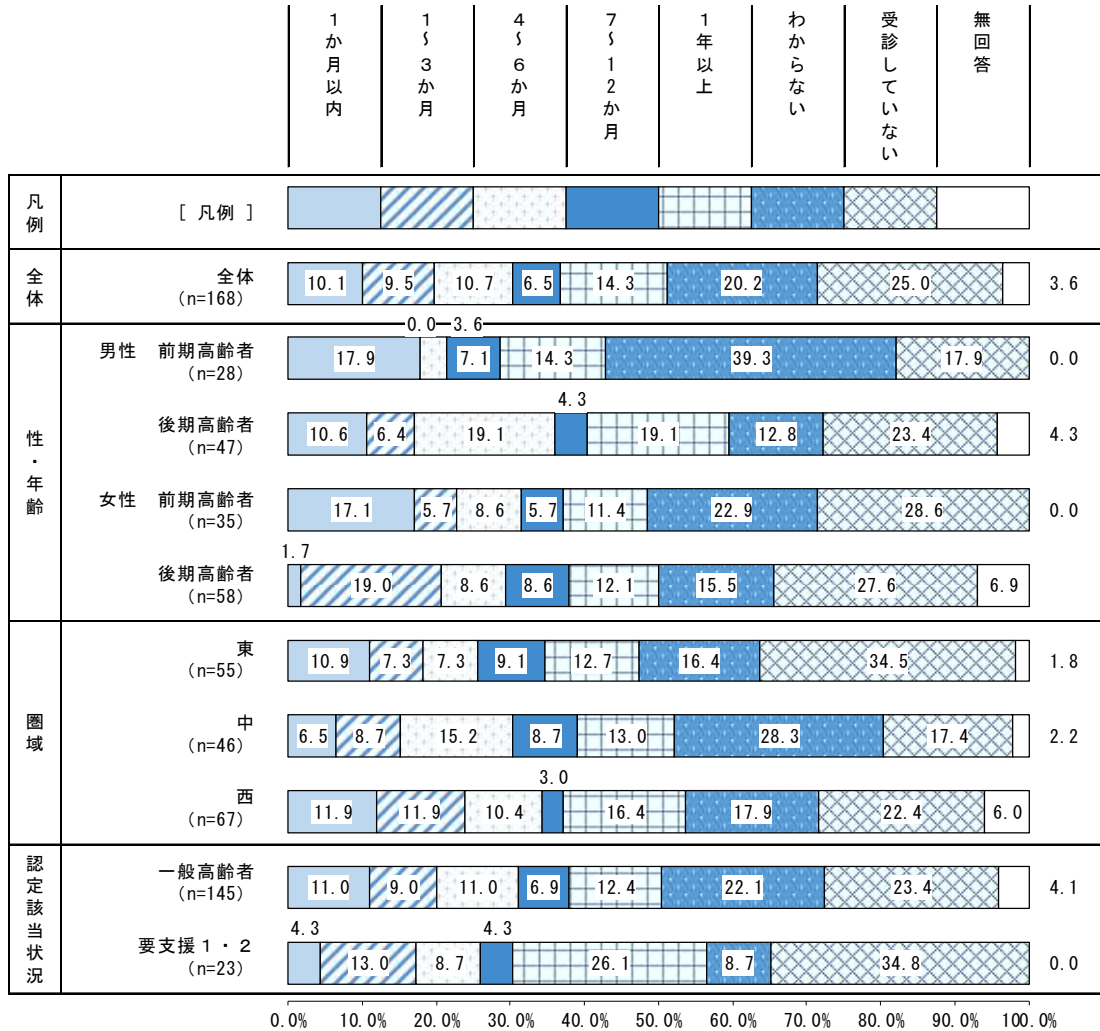
【自身や家族の認知症の症状有無】



③ 受診の状況

受診するまでの期間について、「受診していない」が 25.0%で最も多く、次いで「わからない」が 20.2%、「1年以上」が 14.3%となっています。

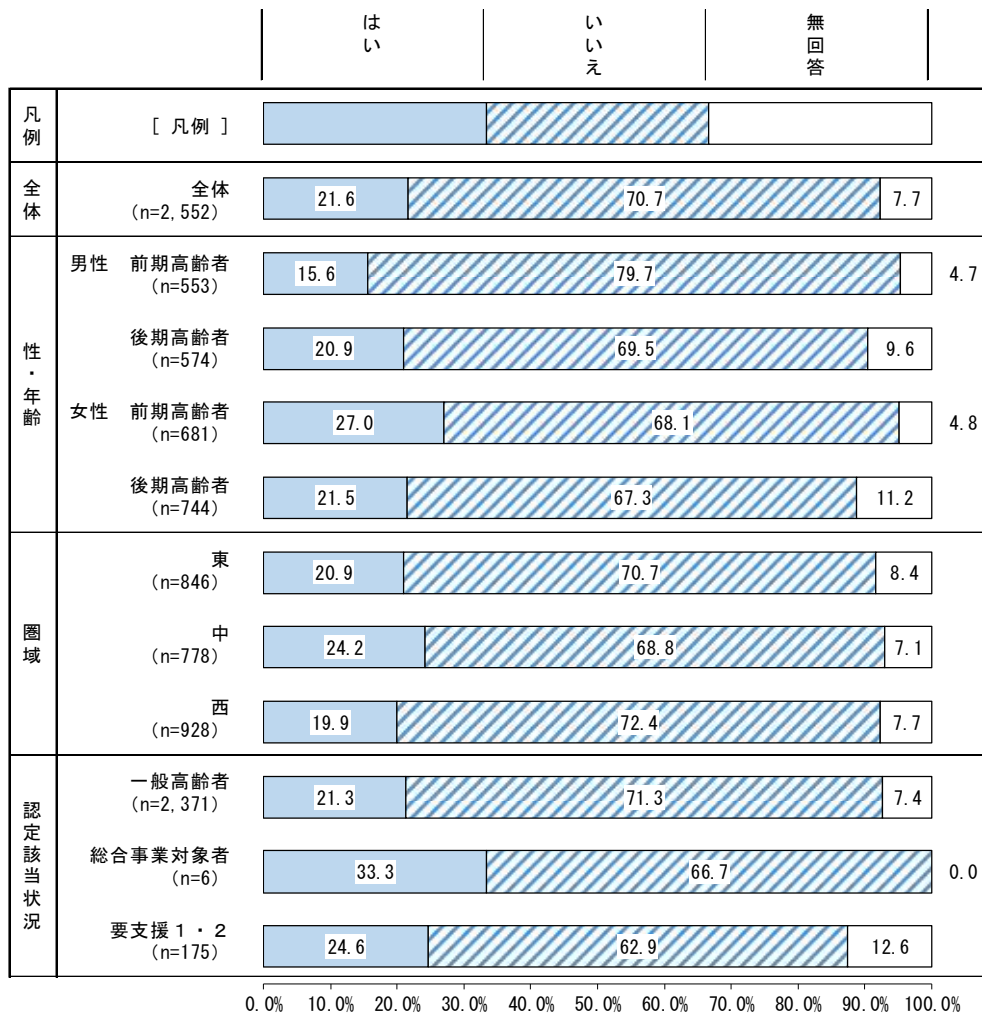
【受診するまでの期間】



④ 認知症窓口の周知状況

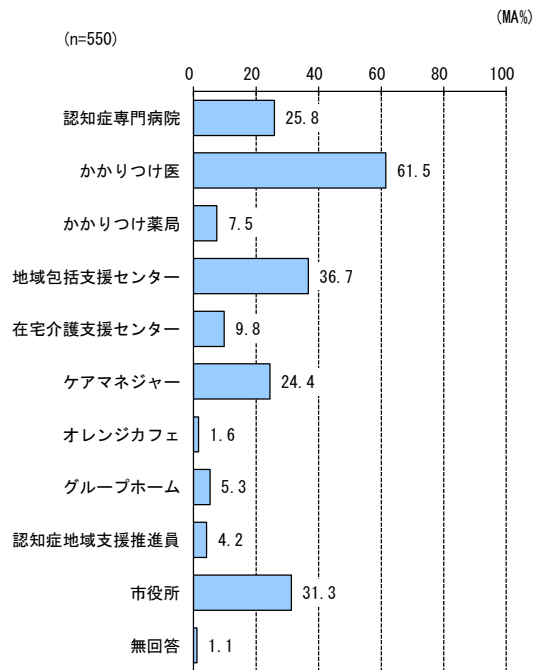
認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が21.6%、「いいえ」が70.7%となっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】



知っている相談窓口について、「かかりつけ医」が61.5%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が36.7%、「市役所」が31.3%となっています。

【知っている相談窓口（複数回答）】



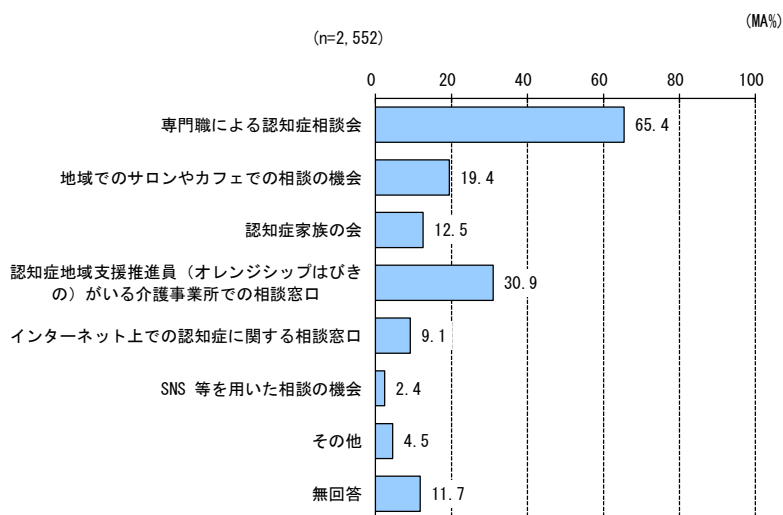
単位：%

	母数 (n)	知っている相談窓口											
		認知症専門病院	かかりつけ医	かかりつけ薬局	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	ケアマネジャー	オレンジカフェ	グループホーム	認知症地域支援推進員	市役所	無回答	
全体	550	25.8	61.5	7.5	36.7	9.8	24.4	1.6	5.3	4.2	31.3	1.1	
性・年齢	男性	86	27.9	66.3	2.3	34.9	10.5	27.9	-	5.8	5.8	36.0	-
		120	19.2	67.5	11.7	▼ 21.7	5.0	15.0	0.8	0.8	1.7	27.5	3.3
	女性	184	28.3	▼ 46.7	4.9	△ 48.9	14.1	31.5	1.6	8.2	4.3	36.4	0.5
圏域		160	26.9	71.3	10.0	35.0	8.1	21.3	3.1	5.0	5.0	25.6	0.6
	東	177	27.1	62.1	7.9	34.5	11.9	25.4	1.7	6.8	4.0	31.1	1.1
	中	188	24.5	55.9	6.4	39.9	9.6	26.6	2.1	5.9	4.3	35.6	1.1
認定該当状況	西	185	25.9	66.5	8.1	35.7	8.1	21.1	1.1	3.2	4.3	27.0	1.1
	一般	505	26.5	60.8	7.1	37.4	10.3	22.4	1.6	5.5	4.6	32.5	1.0
	総合	2	-	△ 100.0	-	-	-	△ 50.0	-	-	-	-	-
要支	43	18.6	67.4	11.6	30.2	4.7	△ 46.5	2.3	2.3	-	▼ 18.6	2.3	

⑤ 認知症相談をする機会や窓口

認知症について相談するために必要なものについて、「専門職による認知症相談会」が65.4%で最も多く、次いで「認知症地域支援推進員（オレンジシップはびきの）がいる介護事業所での相談窓口」が30.9%、「地域でのサロンやカフェでの相談の機会」が19.4%となっています。

【認知症相談をする機会や窓口（複数回答）】



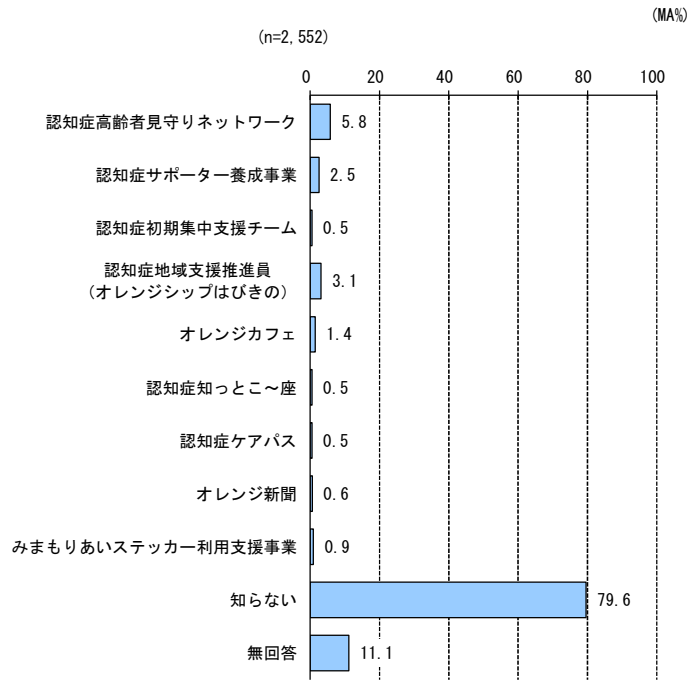
単位：%

	母数 (n)	認知症相談をする機会や窓口								
		専門職による認知症相談会	地域でのサロンやカフェでの相談の機会	認知症家族の会	介護事業所（オレンジシップはびきの）がある相談窓口	認知症地域支援推進員がいる相談窓口	インターネット上での相談窓口	SNS等を用いた相談の機会	その他	無回答
全体	2,552	65.4	19.4	12.5	30.9	9.1	2.4	4.5	11.7	
性・年齢	男性	553	65.1	18.1	9.8	31.5	18.4	4.7	4.9	7.4
	女性	681	71.7	23.9	16.9	35.8	8.8	2.6	3.4	7.0
		744	62.1	19.2	13.6	28.1	3.2	0.5	4.4	18.3
圏域	東	846	64.9	20.9	13.2	32.9	8.2	2.5	4.3	11.6
	中	778	65.7	19.0	14.5	31.5	10.0	2.7	5.1	10.4
	西	928	65.7	18.4	10.0	28.7	9.1	1.9	4.1	12.9
認定該当状況	一般	2,371	66.5	19.9	12.8	31.3	9.3	2.4	4.3	11.1
	総合	6	▼50.0	-	16.7	33.3	16.7	-	-	16.7
	要支	175	▼51.4	13.7	7.4	26.3	5.1	1.1	6.9	19.4

⑥ 羽曳野市の取り組みの周知状況

認知症への取り組みを知っているかについて、「知らない」が79.6%で最も多く、次いで「認知症高齢者見守りネットワーク」が5.8%、「認知症地域支援推進員（オレンジシップはびきの）」が3.1%となっています。

【認知症への取り組みを知っているか（複数回答）】



単位：%

	母数 (n)	認知症への取り組みを知っているか											
		認知症高齢者見守りネットワーク	認知症サポーター養成事業	認知症初期集中支援チーム	認知症地域支援推進員 (オレンジシップはびきの)	オレンジカフェ	認知症知っとこ〜座	認知症ケアパス	オレンジ新聞	みまもりあいステッカー	知らない	無回答	
全体	2,552	5.8	2.5	0.5	3.1	1.4	0.5	0.5	0.6	0.9	79.6	11.1	
性・年齢	男性 前期高齢者	553	3.4	1.1	0.2	2.0	0.2	0.4	0.2	0.4	0.7	90.1	4.5
	男性 後期高齢者	574	5.6	1.0	0.5	3.8	0.5	-	0.2	0.3	0.7	78.0	13.1
	女性 前期高齢者	681	8.1	4.8	1.2	3.1	3.2	1.2	1.2	1.0	1.3	78.3	9.5
	女性 後期高齢者	744	5.8	2.6	0.3	3.2	1.5	0.3	0.4	0.7	0.9	74.2	16.0
圏域	東	846	7.4	2.5	0.2	3.0	1.4	0.7	0.7	0.5	0.6	78.6	11.3
	中	778	5.3	2.4	0.8	4.0	1.4	0.3	0.3	0.6	1.0	79.9	10.2
	西	928	4.8	2.6	0.6	2.4	1.5	0.4	0.5	0.8	1.2	80.2	11.7

83mm×36mm

羽曳野市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査へのご協力をお願い

日頃より羽曳野市介護保険事業に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび羽曳野市では、高齢者の方の生活の状況や心身の状態などについてお伺いし、令和6年度よりスタートします「第9期羽曳野市高齢者いきいき計画」の策定に向け、基礎資料として利用させていただきたいと考えております。

つきましては、お忙しいところお手数ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年1月 羽曳野市

【個人情報の取り扱いについて】

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

■個人情報の保護及び活用目的について

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。この調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、羽曳野市個人情報保護条例に基づき、市で適切に管理いたします。
- ただし、計画策定時にこの調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。（お名前などの個人情報は出ません。）

【お問い合わせ先】

羽曳野市役所 保健福祉部 介護予防支援室 高年介護課

TEL 072-958-1111 (内線1360)

FAX 072-950-2536

記入に際してのお願い

1. この調査は、令和5年1月1日時点で、65歳以上の方を対象に無作為に抽出し、ご協力をお願いしています。
2. あて名のご本人様のお考えをお答えください。ご本人様が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人の意思を尊重して代わってご回答くださるようお願いいたします。
3. ご記入後は、調査票全て（表紙も含む）を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れ、**令和5年2月10日（金）**までに、切手を貼らずにポストに投函してください。
4. ご記入は黒のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いします。
5. 調査に関するご不明な点や質問等は表紙に記載のお問い合わせ先までお願いします。
6. この調査で使う用語の意味は、以下のとおりです。

介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態

介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

記入例	ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。	① はい	2. いいえ
	数字を記入する欄は右詰めでご記入ください。	<input type="text" value="6"/>	<input type="text" value="2"/> kg

★まず、上記をお読みいただいて、以下の①または、②のご記入をお願いします。

①回答者の方へ	記入日	令和 5 年 月 日
	調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	1. あて名のご本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. 調査対象者のケアマネジャー 5. その他

⇒次ページからご回答をお願いします。

②回答できない方へ	事情により回答できない場合は、大変お手数ですが下記に理由をお書きいただき、その他は白紙のまま同封の封筒にてご返送ください。
	回答できない理由

問1 あなたのご家族や生活状況について

1	家族構成をお教えてください。(1つに○)																
	1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯 5. その他																
2	あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)																
	1. 介護・介助は必要ない ⇒ <input type="radio"/> 3へ 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ <input type="radio"/> 2-1へ 3. 現在、何らかの介護を受けている ⇒ <input type="radio"/> 2-1、 <input type="radio"/> 2-2へ (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)																
	2で「2」または「3」と答えた方(介護・介助が必要な方)のみ、お答えください。																
	2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)																
	<table border="0"> <tr> <td>1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)</td> <td>2. 心臓病</td> </tr> <tr> <td>3. がん(悪性新生物)</td> <td>4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)</td> </tr> <tr> <td>5. 関節の病気(リウマチ等)</td> <td>6. 認知症(アルツハイマー病等)</td> </tr> <tr> <td>7. パーキンソン病</td> <td>8. 糖尿病</td> </tr> <tr> <td>9. 腎疾患(透析)</td> <td>10. 視覚・聴覚障害</td> </tr> <tr> <td>11. 骨折・転倒</td> <td>12. 脊椎損傷</td> </tr> <tr> <td>13. 高齢による衰弱</td> <td>14. その他()</td> </tr> <tr> <td>15. 不明</td> <td></td> </tr> </table>	1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	2. 心臓病	3. がん(悪性新生物)	4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	5. 関節の病気(リウマチ等)	6. 認知症(アルツハイマー病等)	7. パーキンソン病	8. 糖尿病	9. 腎疾患(透析)	10. 視覚・聴覚障害	11. 骨折・転倒	12. 脊椎損傷	13. 高齢による衰弱	14. その他()	15. 不明	
1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	2. 心臓病																
3. がん(悪性新生物)	4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)																
5. 関節の病気(リウマチ等)	6. 認知症(アルツハイマー病等)																
7. パーキンソン病	8. 糖尿病																
9. 腎疾患(透析)	10. 視覚・聴覚障害																
11. 骨折・転倒	12. 脊椎損傷																
13. 高齢による衰弱	14. その他()																
15. 不明																	
	2で「3」と答えた方(介護・介助を受けている方)のみ、お答えください。																
	2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)																
	1. 配偶者(夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他()																
3	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)																
	1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある																

問2 からだを動かすことについて

1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)
	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)
	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
3	15分位続けて歩いていますか。(1つに○)
	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
4	1回30分以上の汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していますか。(1つに○)
	1. はい 2. いいえ
5	過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)
	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
6	転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)
	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
7	週に1回以上は外出していますか。(1つに○)
	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上
8	あなたが一人で外出できる範囲はどこまでですか。(徒歩、自転車、車、公共交通機関等の手段は問いません。)(1つに○)
	1. 近所(町内) 2. 羽曳野市内 3. 羽曳野市外
9	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)
	1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

10	外出を控えていますか。(1つに○)		
1. はい (控えている)	⇒10-1へ		
2. いいえ (控えていない)	⇒11へ		
10で「1」と答えた方(外出を控えている方)のみ、お答えください。			
10-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)			
1. 病気	2. 障害(脳卒中の後遺症等)		
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁等)		
5. 耳の障害(聞こえの問題等)	6. 目の障害		
7. 外での楽しみがない	8. 経済的な問題で出られない		
9. 交通手段がない	10. 自宅周辺に問題がある(坂道・階段等)		
11. その他()			
11	外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)		
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	4. 自動車(自分で運転)
5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車	7. 路線バス	
8. 病院や施設のバス	9. 車いす	10. 電動車いす(カート)	
11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー	13. その他()	
12	普段、運動をする習慣がありますか。(1つに○)		
1. はい	⇒12-1へ	2. いいえ	⇒問3へ
12で「1. はい」と答えた方のみ、お答えください。			
12-1 どのような運動ですか。(あてはまるものすべてに○)			
1. いきいき百歳体操	2. 高年生きがいサロンの体操教室	3. LIC ウェルネスゾーン	
4. ウォーキング	5. ランニング(ジョギング含む)	6. 自宅内での運動(筋トレ)	
7. ストレッチ	8. スポーツクラブ・ジム	9. エアロビクス	
10. ヨガ	11. スイミング	12. グラウンドゴルフ	
13. 農作業	14. その他()		

問3 食べることについて

1	身長・体重を教えてください。(1ページの記入例を参照してください。)			
身長	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm	体重	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg	右詰めで数字をご記入ください (小数点以下は省略)
2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)			
1. はい	2. いいえ			
3	お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)			
1. はい	2. いいえ			
4	口の渇きが気になりますか。(1つに○)			
1. はい	2. いいえ			
5	歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。(1つに○)			
1. はい	2. いいえ			
6	歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つに○) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)			
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし			
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし			
6-1	噛み合わせは良いですか。(1つに○)			
1. はい	2. いいえ			
6で「1」または「3」と答えた方(入れ歯ありの方)のみ、お答えください。				
6-2	毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)			
1. はい	2. いいえ			
7	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)			
1. はい	2. いいえ			
8	どなたかと食事をとにする機会はありますか。(1つに○)			
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある		
4. 年に何度かある	5. ほとんどない			
9	野菜料理と主菜(肉または魚)を両方とも毎日2回以上は食べていますか。(1つに○)			
1. はい	2. いいえ			

問4 毎日の生活について

1	物忘れが多いと感じますか。(1つに○)
	1. はい 2. いいえ
2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つに○)
	1. はい 2. いいえ
3	今日が何月何日か、わからない時がありますか。(1つに○)
	1. はい 2. いいえ
4	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つに○)
	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
5	自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)
	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
6	自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)
	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
7	自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)
	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
8	自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)
	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
9	年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(1つに○)
	1. はい 2. いいえ
10	新聞を読んでいますか。(1つに○)
	1. はい 2. いいえ
11	本や雑誌を読んでいますか。(1つに○)
	1. はい 2. いいえ
12	健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つに○)
	1. はい 2. いいえ

13	友人の家を訪ねていますか。(1つに○)
	1. はい 2. いいえ
14	家族や友人の相談にのっていますか。(1つに○)
	1. はい 2. いいえ
15	病人を見舞うことができますか。(1つに○)
	1. はい 2. いいえ
16	自分から若い人に話しかけることがありますか。(1つに○)
	1. はい 2. いいえ
17	趣味はありますか。(1つに○)
	1. 趣味あり ⇒(趣味の内容:) 2. 思いつかない
18	生きがいはありますか。(1つに○)
	1. 生きがいあり ⇒(生きがいの内容:) 2. 思いつかない
19	新型コロナウイルス感染症の影響で、日常生活に変化がありましたか。(1つに○)
	1. はい ⇒19-1へ 2. いいえ ⇒問5へ
	19で「1. はい」と答えた方のみ、お答えください。
	19-1 どのような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)
	1. 外出の機会が減った 2. 運動する機会が減った 3. 同居以外の家族と会う機会が減った 4. 友人と会う機会が減った 5. 人が集まる所に行かなくなった 6. 医療機関への受診を控えるようになった 7. オンラインでのつながりを利用するようになった 8. 宅配サービスを利用するようになった 9. その他()

問5 地域での活動について

1	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(①～⑧それぞれ1つ)		
①ボランティアのグループ	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
②スポーツ関係のグループやクラブ	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
③趣味関係のグループ	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
④学習・教養サークル	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑤はびきのウェルネス、高年生 きがいサロン、いきいき百歳体 操など介護予防のための通い の場	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑥老人クラブ	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑦町内会・自治会	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
⑧収入のある仕事	1. 週4回以上 4. 月1～3回	2. 週2～3回 5. 年に数回	3. 週1回 6. 参加していない
2	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者</u> として参加してみたいと思いますか。(1つに○)		
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している			
3	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)</u> として参加してみたいと思いますか。(1つに○)		
1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している			

問6 たすけあいについて

※あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

1	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(あてはまるものすべてに○)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他()	8. そのような人はいない		

2	反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(あてはまるものすべてに○)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他()	8. そのような人はいない		
3	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(あてはまるものすべてに○)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他()	8. そのような人はいない		
4	反対に、看病や世話をしてあげる人。(あてはまるものすべてに○)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他()	8. そのような人はいない		
5	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(あてはまるものすべてに○)		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員		
3. ケアマネジャー・介護保険サービス事業者	4. 医師・歯科医師・薬剤師・看護師		
5. 地域包括支援センター・市役所	6. その他()		
7. そのような人はいない			
6	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある	
4. 年に何度かある	5. ほとんどない		
7	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つに○)		
1. 0人(いない)	2. 1～2人	3. 3～5人	
4. 6～9人	5. 10人以上		
8	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに○)		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人	
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人		
6. ボランティア等の活動での友人	7. その他()	8. いない	

3	もしあなたの要介護度が進み、介護が必要になった場合や、認知症の症状が出た場合、身体が不自由になったりした場合、あなたはどのような支援があればいいと思いますか。 (あてはまるものすべてに○)		
1. 話し相手	2. 見守り	3. 声かけ	4. 相談相手
5. 介護保険のサービス利用や相談窓口の情報提供	6. 買い物代行	7. 買い物同行	
8. 洗濯	9. 調理	10. 部屋の掃除	11. 自宅周囲の掃除
12. 庭の手入れ	13. 外出の送迎	14. 病院の送迎	
15. 簡単な日曜大工・電球交換	16. 入浴・トイレの介助	17. 緊急時の連絡・対応	18. 各種申請の手伝い
19. 書類や郵便物の整理	20. ゴミの仕分け	21. ゴミ出し	
22. 回覧板の支援	23. ペットの世話	24. その他()	
4	あなたの近所に一人暮らしや認知症の高齢者、身体の不自由な方がおられた場合、あなたはどのような支援ならできると思いますか。(あてはまるものすべてに○)		
1. 話し相手	2. 見守り	3. 声かけ	4. 相談相手
5. 介護保険のサービス利用や相談窓口の情報提供	6. 買い物代行	7. 買い物同行	
8. 洗濯	9. 調理	10. 部屋の掃除	11. 自宅周囲の掃除
12. 庭の手入れ	13. 外出の送迎	14. 病院の送迎	
15. 簡単な日曜大工・電球交換	16. 入浴・トイレの介助	17. 緊急時の連絡・対応	18. 各種申請の手伝い
19. 書類や郵便物の整理	20. ゴミの仕分け	21. ゴミ出し	
22. 回覧板の支援	23. ペットの世話	24. その他()	
5	もしあなたの要介護度が進み、介護が必要になった場合や、身体が不自由になったりした場合、これからの生活をどのようにして送りたいと思いますか。(1つに○)		
1. 在宅で、家族の介護を受けて生活したい(同居・別居は問いません)			
2. 在宅で、介護保険のサービスを利用して生活したい			
3. 特別養護老人ホーム(特養) ^{※1} や認知症対応型のグループホーム ^{※2} などに入所したい			
4. 高齢者が住みやすい住宅(有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅 ^{※3})に転居したい			
5. わからない			

※1 特別養護老人ホームとは、常時介護が必要で住居等での生活が困難な人が入所して、日常生活上の支援や介護を受けられる施設です。

※2 グループホームとは、認知症の方が共同生活する住宅で、食事や入浴などの生活上の支援や機能訓練などのサービスが受けられます。

※3 サービス付き高齢者向け住宅とは、バリアフリー構造などの設備が整い、生活相談や見守りなどのサービスが受けられる高齢者向けの賃貸住宅です。

6	羽曳野市では、高齢者の総合相談窓口として、羽曳野市地域包括支援センターと羽曳野市西園地域包括支援センターの2か所が設置されていますが、さらに身近な相談窓口として在宅介護支援センターを6か所に設置しています。 あなたがお住まいの地域の在宅介護支援センターを利用したことがありますか。(1つに○)	
1. 利用したことがある	2. 知っているが利用したことがない	3. 知らない
7	市からの行政情報などは、どのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)	
1. 広報「はびきの」	2. 羽曳野市ウェブサイト	
3. 羽曳野市公式 facebook	4. 羽曳野市公式 LINE	
5. 羽曳野市公式 YouTube	6. 町内会(自治会)からの回覧版	
7. 友人・知人から聞く	8. 市役所に直接聞く(電話・窓口等)	
9. 介護保険事業者から聞く(ケアマネジャー等)	10. 市役所からの個別通知	
11. 医療機関	12. その他()	
8	あなたは、生活支援コーディネーターを知っていますか。(1つに○)	
1. 知っている	2. 知らない	
8 で「1. 知っている」と答えた方のみ、お答えください。		
8-1 生活支援コーディネーターに相談をしたことはありますか。(1つに○)		
1. ある	2. ない	

問 10 自由記述欄

1	介護保険制度や高齢者福祉等に関するご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

記入した調査票は全て(表紙も含みます)を3つ折りにして、同封している返信用封筒に入れ、

令和5年2月10日(金)までに切手を貼らずに投函してください。

1. 地域包括ケア体制の充実

(1) 日常生活圏域の設定

日常生活圏域は、高齢者が住み慣れた地域で継続して生活できるよう、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して定める区域をいい、介護保険事業計画において設定することとなっています。（介護保険法第117条第2項第1号）

この日常生活圏域は、介護サービス等対象サービスの量の見込み、地域密着型サービスの必要利用定員総数の設定の区域となります。また、地域包括ケアシステムの基礎となる区域であり、地域包括支援センターの設置区域との整合性にも配慮するものとされています。

1) 日常生活圏域の見直し

本市ではこれまで、法定の日常生活圏域を「サービス圏域」として東・西の2圏域の設定とし、地域福祉計画との整合を図るため、同計画で定める「第1層-「ふれあいネット雅び」を活用した相談援助のエリア（小学校区）」で区分する「基礎的圏域」及び「第2層-専門機関と地域をつなぐ包括的ケアネットワークエリア（CSWのエリア）」で区分する東・西・中の「地域支援圏域」を設定してきました。

今般、地域包括ケアシステムの一層の深化を目指し、地域包括支援センターの複数設置及び生活支援コーディネーター※1の活動範囲（第2層）を明確化して事業の拡充を図るため、また、地域福祉計画との整合をさらに徹底させるため、法定の日常生活圏域を、地域福祉計画で設定する第2層のエリア（東・西・中）を標準として設定するものです。東・西・中に区分した圏域の名称は、「はびきの東圏域」、「はびきの西圏域」、「はびきの中圏域」とします。

なお、設定した日常生活圏域における地域包括ケアシステムの構築等の事業は、地域福祉計画で定める「支援と連携の『ささえあいネットはびきの』」の第1層、第2層及び第3層の枠組みとの整合を図って、総合的、重層的に展開していくこととなります。

2) 各日常生活圏域の状況等

3つの圏域の人口、高齢者数、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備の状況等は、ほぼ均衡したものとなっています。

また、介護予防拠点施設（高年生きがいサロン）、地域認知症介護拠点施設（グループホーム等）が概ね均等に整備されていることや、社会福祉施設が実施する社会貢献事業のエリアなども3圏域で包括される体制にあります。

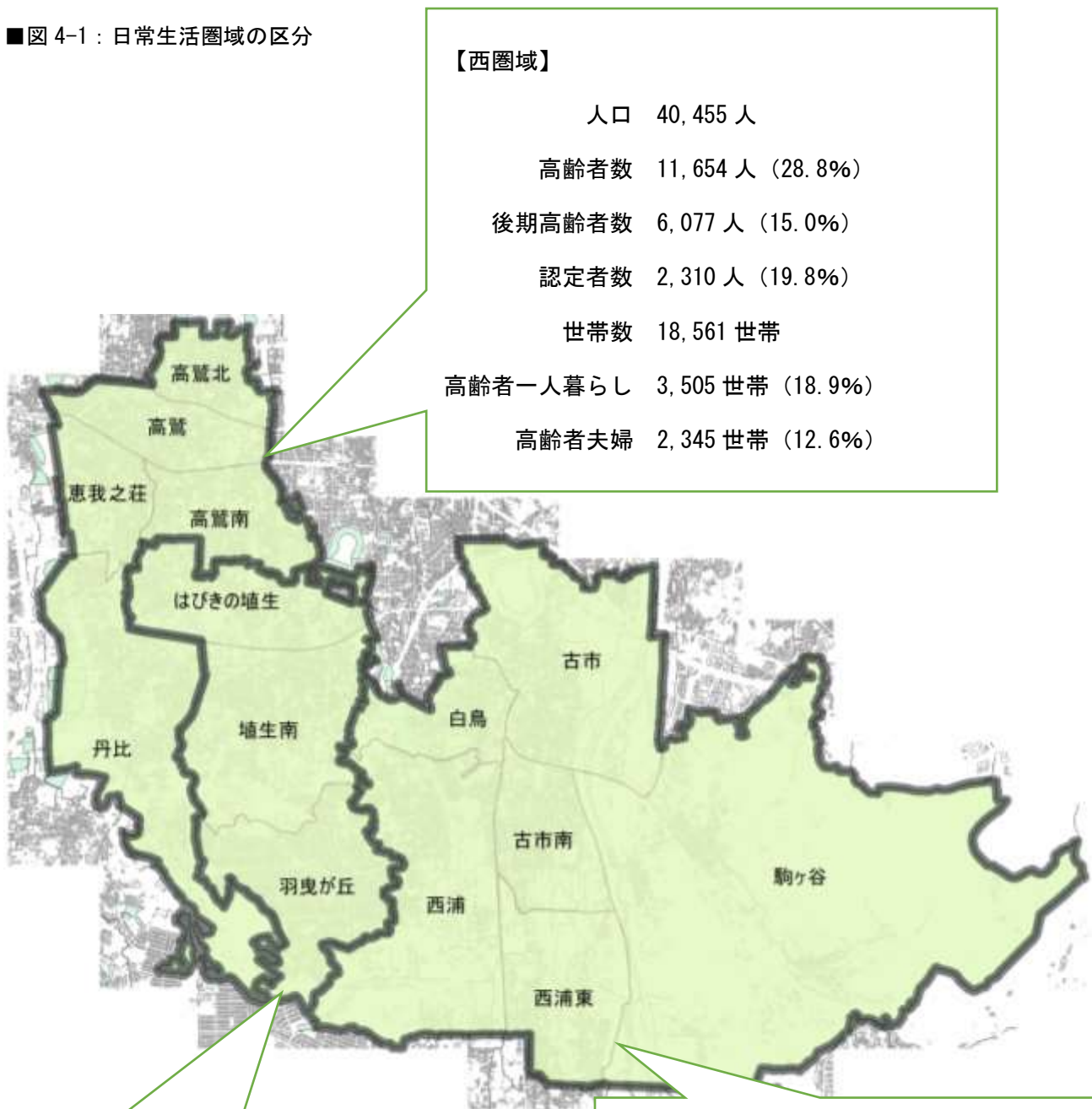
「ふれあいネット雅び」の活動エリアである14小学校区について、人口、地理的条件等を勘案して3つに区分した設定となっています。

地域福祉計画で定めるコミュニティソーシャルワーカー（CSW）は、3つの圏域に配置されており、生活支援コーディネーターの活動範囲（地域資源の活用とネットワーク化を図り、高齢者を総合的に支援できるようにする事業等）は、3圏域での取組みが展開されています。

※1 生活支援コーディネーター

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者のこと。地域の人・組織やニーズ、資源を結びつけて多様なネットワークを構築し、地域における支え合いを推進する。本市においては市内7か所の在宅介護支援センターに設置。

■図 4-1：日常生活圏域の区分



【西圏域】

人口	40,455 人
高齢者数	11,654 人 (28.8%)
後期高齢者数	6,077 人 (15.0%)
認定者数	2,310 人 (19.8%)
世帯数	18,561 世帯
高齢者一人暮らし	3,505 世帯 (18.9%)
高齢者夫婦	2,345 世帯 (12.6%)

【中圏域】

人口	31,277 人
高齢者数	9,936 人 (31.8%)
後期高齢者数	5,383 人 (17.2%)
認定者数	1,823 人 (18.4%)
世帯数	14,216 世帯
高齢者一人暮らし	3,015 世帯 (21.2%)
高齢者夫婦	2,028 世帯 (14.3%)

【東圏域】

人口	38,598 人
高齢者数	11,573 人 (30.0%)
後期高齢者数	5,979 人 (15.5%)
認定者数	2,218 人 (19.2%)
世帯数	17,781 世帯
高齢者一人暮らし	3,326 世帯 (18.7%)
高齢者夫婦	2,320 世帯 (13.0%)

■表 4-1：日常生活圏域の状況

区分		東圏域	中圏域	西圏域
地域	主な行政区	古市地区・駒ヶ谷地区・西浦地区	羽曳が丘地区・埴生地区	高鷲地区・丹比地区
	小学校区	古市・駒ヶ谷・西浦・白鳥・古市南・西浦東	はびきの埴生・羽曳が丘・埴生南	丹比・高鷲・高鷲南・恵我之荘・高鷲北
	自治会数	74	69	57
	地域包括支援センター	1		
	在宅介護支援センター	2	2	3
	生活支援コーディネーター配置数	6	3	3
	協議体(ふれあいネット雅び)数	6	3	5
	高年生きがいサロン	1	1	2
高齢者の状況	人口	38,598 人	31,277 人	40,455 人
	高齢者数 (高齢化率)	11,573 人 (30.0%)	9,936 人 (31.8%)	11,654 人 (28.8%)
	後期高齢者数 (後期高齢化率)	5,979 人 (15.5%)	5,383 人 (17.2%)	6,077 人 (15.0%)
	認定者数(認定率)	2,218 人 (19.2%)	1,828 人 (18.4%)	2,310 人 (19.8%)
	世帯数	17,781 世帯	14,216 世帯	18,561 世帯
	高齢者一人暮らし	3,326 世帯 (18.7%)	3,015 世帯 (21.2%)	3,505 世帯 (18.9%)
	高齢者夫婦 (65歳以上)	2,320 世帯 (13.0%)	2,028 世帯 (14.3%)	2,345 世帯 (12.6%)
各種の介護サービス事業所数	居宅介護支援	12	11	9
	訪問系	訪問介護 18 訪問看護 4	訪問介護 10 訪問看護 10	訪問介護 14 訪問看護 6
	通所系	通所介護 10 通所リハ 3	通所介護 7 通所リハ 1	通所介護 12 通所リハ 4
	短期入所	短期入所生活介護 3 短期入所療養介護 1	短期入所生活介護 2	短期入所生活介護 2 短期入所療養介護 3
	入所・居住系	特定施設入居者生活介護 2 特別養護老人ホーム 3 介護老人保健施設 1	特定施設入居者生活介護 1 特別養護老人ホーム 1	特定施設入居者生活介護 2 特別養護老人ホーム 2 介護老人保健施設 3
	地域密着型サービス (訪問・通所系)	看護小規模多機能 1 小規模多機能 2 通所介護 4	看護小規模多機能 1 定期巡回・随時対応型 1 認知症対応型通所介護 1 通所介護 3	小規模多機能 2 通所介護 1
	地域密着型サービス (施設・居住系)	認知症対応型共同生活介護 5 地域密着型特養 1	認知症対応型共同生活介護 1	認知症対応型共同生活介護 4 地域密着型特養 1
医療の状況	在宅療養支援診療所	7	4	6
	在宅療養支援歯科診療所	1	2	2

令和2年9月30日現在